

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC997 U.S. PTO
09/998149



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年12月 1日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-367549

出 願 人
Applicant(s):

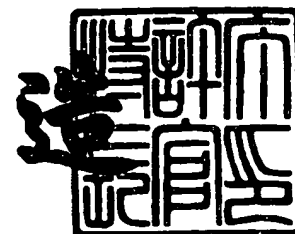
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年11月 9日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3098230

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000990310

【提出日】 平成12年12月 1日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 根石 英生

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 金子 信司

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 笠原 健司

【特許出願人】

 【識別番号】 000002185

 【氏名又は名称】 ソニー株式会社

 【代表者】 出井 伸之

【代理人】

 【識別番号】 100101557

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 萩原 康司

 【電話番号】 03-3226-6631

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 040268

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0012374

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プレゼンテーション資料公開システム、プレゼンテーション資料公開サーバ、プレゼンテーション資料公開方法およびプレゼンテーション資料公開プログラムの記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プレゼンタと、リーダと、前記プレゼンタと前記リーダがネットワークを介してアクセス可能なプレゼンテーション資料公開サーバとを備えたプレゼンテーション資料公開システムであって、

前記プレゼンテーション資料公開サーバは、所定の公開情報の登録を条件に前記ネットワークを介して前記プレゼンタからアップロードされるプレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶可能であるとともに、前記ネットワークを介してアクセスしてきた前記リーダによる前記プレゼンテーション資料の閲覧許可権限を有しており、

前記プレゼンタは、前記ネットワークを介して所定の公開情報を前記プレゼンテーション資料公開サーバに登録可能であるとともに、前記公開情報と関連付けて前記プレゼンテーション資料をアップロード可能であり、

前記リーダは、前記プレゼンテーション資料公開サーバにより許可されたプレゼンテーション資料を前記ネットワークを介して閲覧可能である、ことを特徴とする、プレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 2】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料の公開期間が含まれており、当該公開期間のみ前記リーダによる閲覧が許可されることを特徴とする、請求項 1 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 3】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料のカテゴリ情報が含まれており、前記プレゼンテーション資料は前記カテゴリ情報に応じて分類されて公開されることを特徴とする、請求項 1 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 4】 前記公開情報には、前記リーダの閲覧許可情報が含まれており、閲覧許可条件に合致する前記リーダの閲覧のみが許可されることを特徴とする、請求項 1 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項5】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタにより登録された公開情報に基づいて見積情報を前記プレゼンタに通知することを特徴とする、請求項1に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項6】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタによる前記プレゼンテーション資料のアップロードを許可する前に、前記プレゼンタの与信処理を行うことを特徴とする、請求項1に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項7】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記与信処理が肯定的な場合に、前記プレゼンテーション資料のアップロード先アドレスを通知することを特徴とする、請求項6に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項8】 所定の公開情報の登録を条件にネットワークを介してプレゼンタからアップロードされるプレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶可能な記憶装置と、ネットワークを介してアクセスしてきたリーダによる前記プレゼンテーション資料の閲覧を許可を有する閲覧許可装置とを備えていることを特徴とする、プレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項9】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料の公開期間が含まれており、当該公開期間のみ前記リーダによる閲覧が許可されることを特徴とする、請求項8に記載のプレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項10】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料のカテゴリ情報が含まれており、前記プレゼンテーション資料は前記カテゴリ情報に応じて分類されて公開されることを特徴とする、請求項8に記載のプレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項11】 前記公開情報には、前記リーダの閲覧許可情報が含まれており、閲覧許可条件に合致する前記リーダの閲覧のみが許可されることを特徴とする、請求項8に記載のプレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項12】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタにより登録された公開情報に基づいて見積情報を前記プレゼンタに通知する見積装置をさらに備えていることを特徴とする、請求項8に記載のプレゼンテーシ

ョン資料公開サーバ。

【請求項13】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタによる前記プレゼンテーション資料のアップロードを許可する前に、前記プレゼンタの与信処理を行う与信装置をさらに備えていることを特徴とする、請求項8に記載のプレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項14】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記与信処理が肯定的な場合に、前記プレゼンテーション資料のアップロード先アドレスを通知するアドレス通知装置を備えていることを特徴とする、請求項13に記載のプレゼンテーション資料公開サーバ。

【請求項15】 コンピュータをして請求項8に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項16】 コンピュータをして請求項9に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項17】 コンピュータをして請求項10に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項18】 コンピュータをして請求項11に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項19】 コンピュータをして請求項12に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項20】 コンピュータをして請求項13に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

【請求項21】 コンピュータをして請求項14に記載のプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体。

体。

【請求項 2 2】 プレゼンテーション資料公開方法であって、

プレゼンタがネットワークを介してプレゼンテーション資料公開サーバにアクセスし、所定の公開情報を登録する工程と、

前記所定の公開情報の登録後に、前記プレゼンタが前記ネットワークを介して前記プレゼンテーション資料公開サーバにプレゼンテーション資料をアップロードする工程と、

アップロードされた前記プレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶する工程と、

前記ネットワークを介して前記プレゼンテーション資料公開サーバにアクセスしてきたリーダによるプレゼンテーション資料の閲覧を許可する工程と、

から成ることを特徴とする、プレゼンテーション資料公開方法。

【請求項 2 3】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料の公開期間が含まれており、当該公開期間のみ前記リーダによる閲覧が許可されることを特徴とする、請求項 2 2 に記載のプレゼンテーション資料公開方法。

【請求項 2 4】 前記公開情報には、少なくとも前記プレゼンテーション資料のカテゴリ情報が含まれており、前記プレゼンテーション資料は前記カテゴリ情報に応じて分類されて公開されることを特徴とする、請求項 2 2 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 2 5】 前記公開情報には、前記リーダの閲覧許可情報が含まれており、閲覧許可条件に合致する前記リーダの閲覧のみが許可されることを特徴とする、請求項 2 2 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 2 6】 前記プレゼンテーション資料公開サーバが前記プレゼンタにより登録された公開情報に基づいて見積情報を前記プレゼンタに通知する工程を含むことを特徴とする、請求項 2 2 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【請求項 2 7】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタによる前記プレゼンテーション資料のアップロードを許可する前に、前記プレゼンタの与信処理を行う工程を含むことを特徴とする、請求項 2 2 に記載のプレ

ゼンテーション資料公開システム。

【請求項 2.8】 前記プレゼンテーション資料公開サーバは、前記与信処理が肯定的な場合に、前記プレゼンテーション資料のアップロード先アドレスを通知する工程を含むことを特徴とする、請求項 2.7 に記載のプレゼンテーション資料公開システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、個人または企業が作成したプレゼンテーション資料をインターネットなどのネットワーク上で公開することを支援するプレゼンテーション資料公開システム等に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、さまざまなビジネスフェーズにおいてパーソナルコンピュータが利用されている。その一つとして、社内外でのプレゼンテーション用の資料をプレゼンテーション資料公開ソフト、例えばマイクロソフト (Microsoft) 社のパワーポイント (PowerPoint) や、ロータス (Lotus) 社のフリーランス (Freelance) や、アドビ (Adobe) 社のアクロバット (Acrobat) などを用いて作成し、読み手に強い印象を与えながら効果的にアピールする方法が広く普及している。

【0003】

プレゼンテーション資料を用いて、実際のプレゼンテーションを行う場合には、さまざまな方法が採用されている。例えば、複数の視聴者に対してプレゼンテーションを行うような場合には、プレゼンテーション資料が格納されたコンピュータに液晶プロジェクタなどを接続して、スクリーン上にプレゼンテーション資料の内容を表示させたり、あるいはプリンタを用いてプリントアウトしたプレゼンテーション資料の内容を配布したりすることが一般的に行われている。

【0004】

さらに、プレゼンタが管理する WWW (World Wide Web) サー

バ上にプレゼンテーション用資料を格納しておき、当該プレゼンテーション用資料を必要とするリーダーがそのWWWサーバにアクセスして閲覧するという手法も一般的に行われている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、講演会場においてプレゼンテーションを行う場合には、プレゼンテーション用資料を格納したコンピュータやMOなどの各種記憶媒体を持参せねばならず、会場に設置されている周辺機器との整合性の調整など、非常に煩雑な作業が必要であった。さらに、ハードディスクのクラッシュなどプレゼンテーション資料ファイルが破壊されたような場合には、プレゼンテーション自体が実行不能になることもあった。したがって、プレゼンテーション現場に設置された機器類を用いて、自由にプレゼンテーション資料を取り込み利用したいという技術的要求が存在する。

【0006】

プレゼンテーション資料をプリントアウトして配布する場合、大部分のプレゼンテーション資料はプレゼンテーション後に廃棄されることが多く、紙資源の無駄となっていた。また、プレゼンテーション資料を後で利用する場合にも、プリントアウトされた資料ではその利用方法に限界があり、デジタル化された情報資源の有効利用が図れないという問題があった。したがって、デジタル情報として制作されたプレゼンテーション資料をデジタル情報のまま配布してその有効利用を図り、同時に紙資源などの節約を図りたいという技術的要求が存在する。

【0007】

またプレゼンタ自身が管理するWWWサーバにおいて、プレゼンテーション資料を格納し、アクセスしてきたリーダーの閲覧を許可する方式では、プレゼンテーション資料の運用管理が煩雑であり、エンドユーザには対応することができない。また、多数のリーダーがプレゼンテーション資料を閲覧するためにアクセスしてきた場合には、トラフィックの渋滞が生じ、WWWサーバの他の機能に支障をきたすおそれもあった。

【0008】

本発明は、従来の技術が有する上記またはその他の問題点を克服するためになされたものである。

【0009】

なお、本明細書において、「プレゼンタ (presenter)」とは、単にプレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションの送り手である個人または企業などの団体を指すのみならず、そのような送り手に属するコンピュータなどの端末装置も含まれるものとする。同様に、本明細書において、「リーダ (reader)」とは、単にプレゼンテーション資料の配布を受ける受け手である個人または企業などの団体を指すのみならず、そのような受け手に属するコンピュータなどの端末装置も含まれるものとする。特に、本明細書において、本発明を構成する要素に関連して、「プレゼンタ」または「リーダ」の用語を用いる場合には、特に断らない限り、後述する「プレゼンタ」または「リーダ」としての機能を有するネットワーク接続可能なコンピュータなどの端末装置を指すものとする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の第1の観点によれば、プレゼンタと、リーダと、前記プレゼンタと前記リーダがネットワークを介してアクセス可能なプレゼンテーション資料公開サーバとを備えたプレゼンテーション資料公開システムであって、前記プレゼンテーション資料公開サーバは、所定の公開情報の登録を条件に前記ネットワークを介して前記プレゼンタからアップロードされるプレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶可能であるとともに、前記ネットワークを介してアクセスしてきた前記リーダによる前記プレゼンテーション資料の閲覧許可権限を有しており、前記プレゼンタは、前記ネットワークを介して所定の公開情報を前記プレゼンテーション資料公開サーバに登録可能であるとともに、前記公開情報と関連付けて前記プレゼンテーション資料をアップロード可能であり、前記リーダは、前記プレゼンテーション資料公開サーバにより許可されたプレゼンテーション資料を前記ネットワークを介して閲覧可能である、ことを特徴とする、プレゼンテーション資料公開システムが提供される。

【0011】

ここで、本発明にかかるプレゼンテーション資料公開システム等のサービスの客体である「プレゼンテーション資料」とは、プレゼンテーション資料公開ソフト、例えばマイクロソフト (Microsoft) 社のパワーポイント (PowerPoint) や、ロータス (Lotus) 社のフリーランス (Freelance) や、アドビ (Adobe) 社のアクロバット (Acrobat) などを用いて作成可能な、テンプレート情報、画像情報、テキスト情報などから構成されるプレゼンテーションファイルである。

【0012】

「プレゼンタ」は、プレゼンテーション資料公開サーバにネットワークを介してアクセスするクライアントのうち、プレゼンテーション資料公開サーバが提供するプレゼンテーション資料公開サービスを享受する資格を認証されたクライアントとして定義される。したがって、一般的には、クライアントが備えている機能、すなわち通信機能やブラウザ機能などを備えたコンピュータであるが、クライアントとしての機能を備えた家電装置や携帯端末装置なども含まれる。

【0013】

「リーダ」は、プレゼンテーション資料公開サーバにネットワークを介してアクセスするクライアントのうち、プレゼンテーション資料公開サーバが公開するプレゼンテーション資料を閲覧する資格を認証されたクライアントとして定義される。したがって、一般的には、クライアントが備えている機能、すなわち通信機能やブラウザ機能などを備えたコンピュータであるが、クライアントとしての機能を備えた家電装置や携帯端末装置なども含まれる。

【0014】

さらに、本明細書において用いられる「閲覧」の用語は最も広義な意味に取るものとし、リーダがプレゼンテーション資料を閲覧できる状態になるすべての場合を含むものとする。したがって、単にリーダがプレゼンテーション資料公開サーバにアクセスして直接閲覧する場合のみならず、プレゼンテーション資料公開サーバからプレゼンテーション資料を直接ダウンロードしたり、さらには、プレゼンテーション資料公開サーバからネットワークを介してメールなどの手段によ

リプレゼンテーション資料を配布されるような場合も含むものとする。

【 0 0 1 5 】

なおここで定義される本発明の構成要素の機能構成については特に断らない限り、他の発明の構成要素についても適用されるものとする。

【 0 0 1 6 】

「ネットワーク」は、公衆回線網などを介して接続されるインターネット、あるいはLANなどを介して接続されるイントラネットなど、情報の双方向通信が可能な通信網であり、有線無線を問わない。

【 0 0 1 7 】

「プレゼンテーション資料公開サーバ」は、ネットワークを介してプレゼンタ、リーダその他のクライアントにプレゼンテーション資料公開サービスを提供可能なWWW (World Wide Web) サーバを構成するコンピュータ装置である。特に、本発明の特徴的な点は、プレゼンテーション資料公開サーバは、従来のようにプレゼンタのサイトに展開されるようにプレゼンタに固有のサーバではなく、複数のプレゼンタが共有できるような公開サーバである点に留意する必要がある。

【 0 0 1 8 】

このように、本発明によれば、プレゼンタは、プレゼンテーション資料公開サーバにプレゼンテーション資料をアップロードすることができるので、プレゼンテーション資料を効率的に配布することが可能である。その際に、プレゼンテーション資料公開サーバは、複数のプレゼンタが共用する公開サーバとして構成されているので、多くのアクセスがあった場合であっても、プレゼンタ自身のサーバに負担がかかることがない。

【 0 0 1 9 】

さらに、公開期間などの公開情報を予め登録しておくので、プレゼンタ自身がプレゼンテーション資料の公開を管理する手間も省略することができる。

【 0 0 2 0 】

公開情報にプレゼンテーション資料のカテゴリ情報を含めて、プレゼンテーション資料をカテゴリ情報に応じて分類して公開するように構成すれば、リー

ダなどの利用者の利便を向上させることができる。

【 0 0 2 1 】

公開情報に、リーダの閲覧許可情報を組み込み、この閲覧許可条件に合致するリーダの閲覧のみを許可するように構成すれば、秘密性の高いプレゼンテーション資料についても、その秘密に対するアクセス権限を有するリーダにのみプレゼンテーション資料を配布するような構成を採用できる。

【 0 0 2 2 】

また、プレゼンテーション資料公開サーバは、プレゼンタにより登録された公開情報に基づいて見積情報をプレゼンタに通知するように構成することが好ましい。さらに、プレゼンテーション資料公開サーバは、前記プレゼンタによる前記プレゼンテーション資料のアップロードを許可する前に、前記プレゼンタの与信処理を行うように構成し、前記与信処理が肯定的な場合に、前記プレゼンテーション資料のアップロード先アドレスを通知するように構成することが好ましい。

【 0 0 2 3 】

さらに、本発明の別の観点によれば、所定の公開情報の登録を条件にネットワークを介してプレゼンタからアップロードされるプレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶可能な記憶装置と、ネットワークを介してアクセスしてきたリーダによる前記プレゼンテーション資料の閲覧を許可を有する閲覧許可装置とを備えていることを特徴とする、プレゼンテーション資料公開サーバが提供される。

【 0 0 2 4 】

本発明のさらに別の観点によれば、コンピュータをして上記のようなプレゼンテーション資料公開サーバを構成させるプレゼンテーション資料公開プログラムの記録媒体が提供される。

【 0 0 2 5 】

さらに本発明の別の観点によれば、プレゼンテーション資料公開方法であって、プレゼンタがネットワークを介してプレゼンテーション資料公開サーバにアクセスし、所定の公開情報を登録する工程と、前記所定の公開情報の登録後に、前記プレゼンタが前記ネットワークを介して前記プレゼンテーション資料公開サー

バにプレゼンテーション資料をアップロードする工程と、アップロードされた前記プレゼンテーション資料を前記公開情報と関連付けて記憶する工程と、前記ネットワークを介して前記プレゼンテーション資料公開サーバにアクセスしてきたリーダによるプレゼンテーション資料の閲覧を許可する工程と、から成ることを特徴とする、プレゼンテーション資料公開方法が提供される。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下に、添付図面を参照しながら、本発明にかかるプレゼンテーション資料公開システム等の好適な実施形態について詳細に説明する。なお、以下の説明および添付図面において、略同一の機能構成を有する構成要素については、同一の符号を付することにより重複説明を省略するものとする。

【 0 0 2 7 】

(1) プレゼンテーション資料公開システムの構成

(1-1) システムの全体的構成

まず、図1を参照しながら、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの全体的な構成について説明する。

【 0 0 2 8 】

図1に示すように、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムは、プレゼンテーション資料公開サービスの一方の利用者である複数のプレゼンタ100(100-1, 100-2, ..., 100-n)と、プレゼンテーション資料公開サービスの他方の利用者である複数のリーダ200(200-1, 200-2, ..., 200-n)と、これらのプレゼンタ100およびリーダ200がネットワーク300を介してアクセス可能なプレゼンテーション資料公開サービスの提供者であるプレゼンテーション資料公開サーバ400とから主に構成されている。

【 0 0 2 9 】

(1-2) プレゼンテーション資料

ここで、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムによるサービスの対象となる「プレゼンテーション資料」は、プレゼンテーション資料公

開ソフト、例えばマイクロソフト (Microsoft) 社のパワーポイント (PowerPoint) や、ロータス (Lotus) 社のフリーランス (Freelance) や、アドビ (Adobe) 社のアクロバット (Acrobat) などを用いて作成可能な、テンプレート情報、画像情報、テキスト情報などから構成されるプレゼンテーションファイルである。

【0030】

プレゼンテーション資料は、プレゼンタのさまざまなアイデアを効率良く整理し、必要に応じて図表を追加して、わかりやすく提示するためのビジネスツールである。会議の席上や聴衆を前にしてのスピーチ、あるいはインターネットを介したメッセージの配布など、表現したいポイントを相手にわかりやすく伝えることが要求される場合には、プレゼンテーション資料を用いることにより、大きな成功を収めることが可能である。

【0031】

プレゼンテーション資料は、その資料を作成するアプリケーションソフトに応じて、さまざまな形態をとり得る。しかしながら、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムは、アプリケーションソフトの種類に関係なく、適用することが可能である。すなわち、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムは、後述するように、プレゼンテーション資料をレイアウト情報に分割して提供する。レイアウト情報は、少なくともテンプレート情報を含み、必要な場合に応じて、画像素材情報、テキスト情報、その他の情報を含んでいる。

【0032】

なお、本明細書においては、マイクロソフト (Microsoft) 社製のプレゼンテーションツールであるパワーポイント (PowerPoint) に好適なプレゼンテーション資料を作成する場合に即して本発明の実施の形態を説明するが、上記のような理由により、本発明は、かかる例に限定されず、ロータス (Lotus) 社のフリーランス (Freelance) や、アドビ (Adobe) 社のアクロバット (Acrobat) などその他のプレゼンテーションツール用のプレゼンテーション資料に対しても適用することが可能なレイアウト情報を

提供できることは言うまでもない。

【0033】

(1-3) プレゼンタ100

「プレゼンタ」100は、本明細書に固有の概念である。プレゼンタ100は、プレゼンテーション資料公開サーバ400にネットワーク300を介してアクセスするクライアントのうち、プレゼンテーション資料公開サービスを楽しむ資格を認証された情報の送り手側のクライアントとして、定義される。したがって、一般的には、クライアントが備えている機能、すなわち、通信機能やブラウザ機能などを備えたコンピュータであるが、クライアントとしての機能を備えた家電装置や携帯端末装置なども含まれる。

【0034】

図2には、プレゼンタ100の構成例が示されている。

【0035】

表示部102は、CRTや液晶ディスプレイなどの表示装置であり、プレゼンテーション資料公開サーバ400にアップロードするプレゼンテーション資料その他の画像を表示する。本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスにおいては、プレゼンテーション資料公開サーバ400から送信されたCGI (Common Gateway Interface) などにより操作されて、プレゼンテーション資料のアップロード用画面等を表示する機能を有する。

【0036】

入力部104は、プレゼンテーション資料に関連する情報を入力するためのキーボードやマウスなどの入力装置であり、必要に応じて、画像情報などの入力するためのスキャナなどの外部入力用周辺機器106を接続することも可能である。入力部104は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムにおいては、プレゼンテーション資料を作成するための入力編集装置として機能する。

【0037】

出力部108は、プレゼンテーション資料などファイルを外部出力する機能部であり、必要に応じて、配布用のプレゼンテーション資料を印刷するためのプリ

ンタや講演会場などにおいてプレゼンテーション資料を映写するためのプロジェクタなどの出力用周辺機器110が接続される。

【0038】

ブラウザ112は、インターネットを介して接続されたサーバからウェブページを表示するための機能部である。すなわち、表示部102と連携して、プレゼンテーション資料公開サーバ400に関連するウェブページを表示させることが可能である。

【0039】

プレゼンテーション資料制作用アプリケーションソフト114は、すでに説明したように、テンプレート情報、画像素材情報、テキスト情報などを組み合わせて、プレゼンテーション資料を作成する機能を有し、例えば、マイクロソフト（Microsoft）社のパワーポイント（PowerPoint）や、ロータス（Lotus）社のフリーランス（Freelance）や、アドビ（Adobe）社のアクロバット（Acrobat）などである。

【0040】

記憶部116は、マイクロソフト（Microsoft）社のWINDOWSやLinuxなどのOSや、プレゼンテーションツールなどの各種アプリケーションソフトが格納されているほか、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムにより、プレゼンテーション資料公開サーバにアップロードするためのプレゼンテーション資料などを格納することができる。

【0041】

通信ポート118は、通信機能を有しており、インターネットなどのネットワーク300に接続して、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの利用を可能にするものである。

【0042】

(1-4) リーダ200

「リーダ」200は、本明細書に固有の概念である。リーダ200は、プレゼンテーション資料公開サーバ400にネットワーク300を介してアクセスするクライアントのうち、プレゼンテーション資料公開サービスを楽しむ資格を認

証された情報の受けて側のクライアントとして、定義される。したがって、一般的には、クライアントが備えている機能、すなわち、通信機能やブラウザ機能などを備えたコンピュータであるが、クライアントとしての機能を備えた家電装置や携帯端末装置なども含まれる。

【 0 0 4 3 】

図 3 には、リーダ 2 0 0 の構成例が示されている。

【 0 0 4 4 】

表示部 2 0 2 は、C R T や液晶ディスプレイなどの表示装置であり、プレゼンテーション資料公開サーバ 4 0 0 からダウンロードしたプレゼンテーション資料その他の画像を表示する。本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスにおいては、プレゼンテーション資料公開サーバ 4 0 0 から送信された C G I (C o m m o n G a t e w a y I n t e r f a c e) などにより操作されて、プレゼンテーション資料のダウンロード用画面等を表示する機能を有する。

【 0 0 4 5 】

入力部 2 0 4 は、プレゼンテーション資料に関連する情報を入力するためのキーボードやマウスなどの入力装置であり、必要に応じて、画像情報などの入力するためのスキャナなどの外部入力用周辺機器 2 0 6 を接続することも可能である。入力部 2 0 4 は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムにおいては、レイアウト情報の入力編集装置として機能する。

【 0 0 4 6 】

出力部 2 0 8 は、プレゼンテーション資料などファイルを外部出力する機能部であり、必要に応じて、配布用のプレゼンテーション資料を印刷するためのプリンタや講演会場などにおいてプレゼンテーション資料を映写するためのプロジェクタなどの出力用周辺機器 2 1 0 が接続される。

【 0 0 4 7 】

ブラウザ 2 1 2 は、インターネットを介して接続されたサーバからウェブページを表示するための機能部である。すなわち、表示部 2 0 2 と連携して、プレゼンテーション資料公開サーバ 4 0 0 に関連するウェブページを表示させること

が可能である。

【0048】

プレゼンテーション資料制作用アプリケーションソフト214は、すでに説明したように、テンプレート情報、画像素材情報、テキスト情報などを組み合わせて、プレゼンテーション資料を作成する機能を有し、例えば、マイクロソフト（Microsoft）社のパワーポイント（PowerPoint）や、ロータス（Lotus）社のフリーランス（Freelance）や、アドビ（Adobe）社のアクロバット（Acrobat）などである。

【0049】

記憶部216は、マイクロソフト（Microsoft）社のWINDOWSやLinuxなどのOSや、プレゼンテーションツールなどの各種アプリケーションソフトが格納されているほか、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムにより、プレゼンテーション資料公開サーバからダウンロードしたシミュレーション資料を格納することができる。

【0050】

通信ポート218は、通信機能を有しており、インターネットなどのネットワーク300に接続して、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの利用を可能にするものである。

【0051】

(1-4) ネットワーク300

「ネットワーク」300は、公衆回線網などを介して接続されるインターネット、あるいはLAN（Large Area Network）などを介して接続されるイントラネットなどの情報の双方向通信が可能な通信網であり、有線無線を問わない。

【0052】

「プレゼンテーション資料公開サーバ」300は、ネットワーク300を介して、プレゼンタ100およびリーダー200に対して、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供可能なWWW（World Wide Web）サーバ（または、ウェブサーバ、HTTP（Hypertext Tr

ansfer Protocol) サーバなどとも称する。) を構成するコンピュータ装置である。

【0053】

(1-5) プレゼンテーション資料公開サーバ400

次にプレゼンテーション資料公開サーバ400の構造について、図4を参照しながら詳細に説明する。

【0054】

すでに説明したように、プレゼンテーション資料公開サーバ400は、ネットワーク300を介して、プレゼンタ100、リーダ200その他のクライアントに対してプレゼンテーション資料公開サービスを提供可能なWWWサーバを構成するコンピュータ装置である。

【0055】

プレゼンテーション資料公開サーバ400の機能構成部は、プレゼンテーション資料公開サーバ400の動作を総合的に管理する管理部402、プレゼンタ100との情報のやり取りを管理するプレゼンタ対応部410、リーダ200との情報のやり取りを管理するリーダ対応部420、各種データを格納して管理するデータベース部430から主に構成されている。

【0056】

プレゼンテーション資料公開サーバ400のプレゼンタ対応部420は、さらに、会員登録部411、公開情報登録部412、見積処理部413、受注処理部414、アップロード管理部415などの機能構成部を備えている。

【0057】

会員登録部411は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを利用する会員をデータベース部430のプレゼンテーション資料公開サーバ400のプレゼンタ情報データベース431に登録する。会員登録フローの詳細については後述するが、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを利用するためには、事前の会員登録が必要となる。このように事前に会員登録を行わせることにより、冷やかしを目的としたユーザのアクセスを減じ、トラフィックの渋滞を未然に回避することができる。さらに、ここで登録た会員

情報をさまざまなフェーズ、例えば、後述する与信処理時などに利用することが可能となり、情報の有効利用およびシステムの効率化を図ることができる。

【 0 0 5 8 】

公開情報管理部 4 1 2 は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスにより公開されるプレゼンテーション資料の公開条件などの叩解情報が登録される。公開情報には、例えば、プレゼンテーション資料の公開期間、プレゼンテーション資料のカテゴリー情報、リーダのダウンロード許可情報などが含まれている。プレゼンテーション資料公開サーバ 4 0 0 は、これらの公開情報に基づいて、公開費用を決定し、公開を行い、さらにリーダ 2 0 0 によるダウンロードを許可する。

【 0 0 5 9 】

見積処理部 4 1 3 は、プレゼンタ 1 0 0 が公開情報登録部 4 1 2 に対して登録を行った公開情報に基づいて、プレゼンテーション資料をアップロードしてプレゼンテーション資料公開サーバ 4 0 0 に公開するために必要な費用の見積を、C G I 技術等を用いて、プレゼンタ 1 0 0 の画面上に表示する機能を有する。プレゼンタ 1 0 0 は、かかる見積を参照することにより、見積もられた費用を支払ってまでプレゼンテーション資料を公開したいか、あるいはプレゼンテーション資料の公開を諦めるかどうかを判断することができる。

【 0 0 6 0 】

受注処理部 4 1 4 は、見積額を承諾したプレゼンタ 1 0 0 に対して、本実施形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスの利用にあたっての注意事項や同意事項などの規約を提示して、規約への同意を条件に、プレゼンタ 1 0 0 からの依頼を仮受注する機能を有する。仮受注にあたって、受注処理部 4 1 4 は、プレゼンタ 1 0 0 に関する詳細な情報の登録を要求する。この詳細な情報には、後述する与信処理を行う再に必要な情報、例えば、クレジットカード番号等が含まれる。受注処理部 4 1 4 は、これらの詳細情報に基づいて与信処理を行い、当該プレゼンタ 1 0 0 の支払能力などの信用調査を実行する。このように、本受注に先立って、与信調査を行うことにより、回収不能な債権の発生を未然に回避することが可能である。

【0061】

アップロード管理部415は、プレゼンタ100からの公開要求を本受注した後に、プレゼンタ100からプレゼンテーション資料のアップロードを受け付けて、所定のアドレスに格納して管理する。

【0062】

プレゼンテーション資料公開サーバ400のリーダ対応部420は、公開情報管理部421とダウンロード許可部422とを主な機能構成部として備えている。

【0063】

公開情報管理部421は、公開情報登録部412において登録された公開情報を管理する。例えば、公開期間が設定されていれば、当該公開期間のみプレゼンテーション資料を公開する。さらに、アップロードされたプレゼンテーション資料を登録されたカテゴリー情報に応じて分類整理し、リーダ200に対して提示することができる。さらに、リーダ200による許可条件が設定されている場合には、許可条件に合致するリーダ200によるダウンロードのみを許可するように管理する。

【0064】

ダウンロード許可部422は、プレゼンテーション資料公開サーバ400にアクセスしてきたリーダ200からのプレゼンテーション資料の閲覧要求を判断して、公開情報管理部421の指示に従って、ダウンロードを許可する権限を有している。

【0065】

なお、図示の構成例は、プレゼンテーション資料のダウンロードが無料に設定されている場合を示しているが、プレゼンテーション資料のダウンロードが有料に設定されている場合には、リーダ対応部420にプレゼンタ対応部410とほぼ同様の構成を有する受注処理部414を設けて、与信処理等を行い、支払が保証されるリーダ200によるダウンロードのみを許可するように構成することが可能である。

【0066】

プレゼンテーション資料公開サーバ400のデータベース部430は、プレゼンタ情報データベース431，リーダ情報データベース432，公開情報データベース433，プレゼンテーション資料データベース434などから構成されている。

【0067】

プレゼンタ情報データベース431は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスの一方向のユーザであるプレゼンタ100の登録情報を管理する。後述するが、プレゼンタ情報データベース431において管理されるプレゼンタ100の登録情報は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスの利用深度に応じて2段階的に設定されている。一次登録情報は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サーバ400から見積サービス等を受けるために、エントランス部で要求される会員登録であり，ここでは，住所氏名などの基礎的データが収集され管理される。二次登録情報は、プレゼンテーション資料公開サービスを実際に利用する際に仮受注時に要求される登録情報であり，ここでは，クレジットカード情報，電子決済情報などに関する情報が収集され管理される。

【0068】

リーダ情報データベース432は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスの他方向のユーザであるリーダ200の登録情報を管理する。本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスにおいては，プレゼンタ100からアップロードされたプレゼンテーション資料をフリーにリーダ200に提供する構成を採用することも可能であるが，所定のリーダ情報の登録を条件にプレゼンテーション資料のダウンロードを許可するような構成を採用することも可能である。後者のような場合には，登録されたリーダ200に関する情報が，このリーダ情報データベース432において登録され管理される。

【0069】

公開情報データベース433は，プレゼンタ100がプレゼンテーション資料をプレゼンテーション資料公開サーバ400において公開するための公開情報が格納される。公開情報としては，プレゼンテーション資料の公開期間，プレゼン

テーション資料のカテゴリ情報、リーダーのダウンロード許可情報などが含まれている。

【0070】

プレゼンテーション資料データベース434は、プレゼンタ100がプレゼンテーション資料公開サーバ400にアップロードしたプレゼンテーション資料が格納されて管理される。リーダー200がプレゼンテーション資料をダウンロードする際には、プレゼンテーション資料データベース434内の所定のアドレスにアクセスして、登録されたプレゼンテーション資料をダウンロードすることができる。

【0071】

以上、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスのハードウェア構成について説明した。なお、本発明は上記実施の形態に限定されない。特にプレゼンテーション資料公開サーバ400の構成においては、複数の機能ブロックを一つの機能ブロックとして構成したり、あるいは、1つの機能ブロックを複数の機能ブロックとして構成することも可能であり、それらについても当然に本発明の技術的範囲に属するものと了解される。

【0072】

(2) プレゼンテーション資料公開サービスの処理フロー

次に、上記ハードウェア構成になるプレゼンテーション資料公開サービスの処理フローについて説明する。

【0073】

(2-1) プレゼンテーション資料公開サービスフロー

まず、図5を参照しながら、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの処理フローの概略について説明する。

【0074】

まず、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムが運営するサイトのメニューにアクセスしてきたクライアントが、本システムを利用してプレゼンテーション資料公開サービスを享受するためには、会員登録を行い、プレゼンタ100として認証される必要がある(S501)。このように事前の会員

登録を条件にして本実施の形態に係るプレゼンテーション資料公開サイトの利用を認めることにより、冷やかしのアクセスなどを軽減することが可能となり、トラフィックの渋滞を未然に回避することが可能となる。

【0075】

会員登録を行うことにより、プレゼンタ100にはIDとパスワードが付与される。会員として認証されたプレゼンタ100が、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを実際に享受するためには、メニュー画面から、本サービスサイトにログインする必要がある（S502）。ログインが行われると、プレゼンタ100の画面には、公開情報登録画面が表示される。

【0076】

プレゼンタ100は、この公開情報登録画面において、公開期間、カテゴリー情報、ダウンロード許可情報などの登録を行う（S503）。公開情報の登録が行われると、その登録情報に基づいて見積処理が行われる（S504）。プレゼンタ100は、見積画面において、シミュレーション資料を公開サーバ400にアップロードして公開するために必要な費用を確認し、その費用に納得がいけば、発注画面において、発注処理を行う（S505）。

【0077】

発注処理においては、プレゼンタ100の与信調査を行い、その与信結果が肯定的である場合には、プレゼンテーション資料のアップロードを許可する（S506）。プレゼンタ100は所望のプレゼンテーション資料をプレゼンテーション資料公開サーバ400にアップロードし、プレゼンテーション資料公開サーバ400は、登録された公開情報に基づいて、アップロードされたプレゼンテーション資料を公開する（S507）。

【0078】

（2-2）受注処理フロー

図6には、プレゼンタ100による発注処理後に、プレゼンテーション資料公開サーバ400において行われる受注処理フローの詳細が示されている。

【0079】

図示のように、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスに

においては受注処理は、仮受注処理（S601）、与信処理（S602）、本受注処理（S603）を経て行われる。

【0080】

仮受注処理（S601）では、プレゼンタ100からの発注を受け付けて、プレゼンタ100からクレジットカード番号など支払能力に関する詳細情報の登録を促す。登録された詳細情報は、続く与信処理（S602）において与信照会され、支払能力の裏づけが行われる。そして、与信結果が肯定的な場合にのみ、本受注処理が行われ（S603）、プレゼンテーション資料のアップロードが許可される。

【0081】

このように受注処理に与信処理を介在させることにより、支払能力の無い、プレゼンタ100に対してプレゼンテーション資料公開サービスを提供し、費用の回収ができないような事態を未然に回避することが可能となる。

【0082】

なお、本実施の形態においては、プレゼンタ100がプレゼンテーション資料をプレゼンテーション資料公開サーバ400にアップロードする場合にのみ、与信処理を含む受注処理を行う構成を示しているが、リーダ200がプレゼンテーション資料をプレゼンテーション資料公開サーバ400からダウンロードする場合にも、図6に示すような、与信処理を含む受注処理を行うように構成することも可能であることは言うまでもない。

【0083】

（2-3）プレゼンテーション資料のダウンロードフロー

次に図7を参照しながら、リーダ200によるプレゼンテーション資料ダウンロードフローについて説明する。

【0084】

プレゼンテーション資料公開サーバ400に設定される所定のアドレスには、プレゼンタ100によりアップロードされたプレゼンテーション資料が格納されている（S701）。リーダ200は、プレゼンタ100から公開されているプレゼンテーション資料のダウンロード用URLを知らされたり、あるいは、カテ

ゴリー情報に基づいて分類されたダウンロード用URLにたどりつくなどして、所望のプレゼンテーション資料のダウンロードを要求する（S702）。プレゼンテーション資料公開サーバ400のダウンロード許可部422においては、登録された公開情報に基づいて、アクセスしてきたリーダ200がダウンロード権限を有しているかどうかを判断し、ダウンロード権限を有している場合にはダウンロードを許可する（S703）。その結果、リーダ200は、所望のプレゼンテーション資料をダウンロードするなどして閲覧することが可能となる。

【0085】

（2-4）プレゼンテーション資料の管理構成

図8には、プレゼンテーション資料公開サーバ400におけるプレゼンテーション資料管理の一例が示されている。

【0086】

図示のように、プレゼンテーション資料は、プレゼンタ100ごとに管理されている。図示のように、プレゼンタ100が複数のプレゼンテーション資料をアップロードしている場合には、各プレゼンテーション資料がタイトルごとに管理される。そして各プレゼンテーション資料は、リーダ200に対して提供されるプレゼンテーション資料ファイルと、そのプレゼンテーション資料の公開情報とが関連付けて管理されている。さらに公開情報は、公開期間、カテゴリー、ダウンロード許可情報、コンテンツ情報などが個別に登録されており、プレゼンテーション資料公開サーバは、ここに登録された公開情報に基づいてプレゼンテーション資料ファイルを公開する。

【0087】

次に、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスについてプレゼンタ100またはリーダ200の表示部102、202に示される画面に即して詳細について説明する。

【0088】

（2-5）会員登録処理の画面フロー

すでに説明したように、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを享受するためには、メニューページにおいてプレゼンタ100としての

登録を完了する必要がある。このように会員登録を事前条件とすることにより、冷やかしのアクセスなどを軽減することが可能となり、トラフィックの渋滞を未然に回避することが可能となる。

【0089】

図9～図14を参照しながら、典型的な会員登録処理の画面フローについて詳細に説明する。

【0090】

図10に示すメニューページ1000は「bit-promotion」なる総合サイト1001として構成されている（S901）。このサイト内においては、複数の個別サービスがサブサイトとして展開されている。図示の例では、「web-creation」1002は、ウェブページ制作支援サービスを提供するサブサイトであり、「e-presen」1003は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサブサイトであり、「e-shop」1004はオンラインショッピングサービスを提供するサブサイトである。クライアントは、メニューページにおいて、会員登録を行うことにより、「bit-promotion」が提供する各種サービスを享受することが可能となる。

【0091】

このメインメニューページにおいて、会員登録ボタン1005を押下すると、図11に示すような規約確認画面が表示される（S902）。この規約確認画面1100には、本実施形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを利用するための同意事項801が表示される。この規約確認画面1100において、規約内容を確認した後、承諾ボタン1102を押下することにより、図12に示すような会員登録情報入力画面1200が表示される（S903）。

【0092】

会員登録情報入力画面1200においては、例えば希望ID1201、希望パスワード1202、メールアドレス1203、氏名1204などの会員登録情報の入力が要求される。この会員情報入力画面1200において、所定事項の入力が完了すると、図13示すような、プレゼンタ100に登録情報の確認を促す入

力情報確認画面1300が表示される（S904）。

【0093】

この入力情報確認画面1300において、入力情報を確認した後、確認ボタン1301を押下すると、その内容がプレゼンテーション資料公開サーバ400に送信される。プレゼンテーション資料公開サーバ400は、送信された登録情報の内容で登録が可能であるかどうかを判断する（S905）。

【0094】

そして、送信された登録情報の内容では登録が認められない場合、例えば、希望IDがすでに使用されているような場合には、図14に示すように、登録情報の再入力を促す画面1400が表示される（S906）。これに対して、送信された登録情報の内容での登録が可能である場合には、図15に示すような、登録完了通知画面1500が表示され（S906）、会員登録情報入力フローが完了する。

【0095】

会員登録が完了すれば、プレゼンタ100には、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを享受する資格が認証され、プレゼンタ100は、メニュー画面から上記サービスを提供するサブサイトに移行することが可能となる（S907）。

【0096】

（2-6）プレゼンテーション資料アップロード画面フロー

次に、図16～図24を参照しながら、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料アップロード画面フローについて説明する。

【0097】

図17に示すメニューページは、図10に示すメニューページ1500とほぼ同様のものであり、「bit-promotion」なる総合サイト1701として構成されている（S1601）。このサイト内においては、複数の個別サービスがサブサイトとして展開されている。図示の例では、「web-creation」1702は、ウェブページ制作支援サービスを提供するサブサイトであり、「e-presen」1703は、本実施の形態にかかるプレゼンテーション

ン資料公開サービスを提供するサブサイトであり、「e-shop」1704はオンラインショッピングサービスを提供するサブサイトである。

【0098】

すでに説明したように、プレゼンタ100は、会員登録サイト1705において、会員登録を完了し、ユーザIDおよびパスワードを取得しているものとする。

【0099】

図17において、「e-presen」ボタン1703を押下することにより、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサブサイトに入室するためのログイン画面に移行する(S1602)。図18には、ログイン画面1800の一例が示されている。このログイン画面において、ユーザID1801およびパスワード1802を入力することにより、公開情報入力するための公開情報入力画面に移行する(S1603)。なお、図18に示すログイン画面1800には、会員登録サイトにリンクする会員登録ボタン1803も配置されており、ユーザIDおよびパスワードを未取得のプレゼンタ100は、ここから会員登録を行うことも可能である。

【0100】

図19～図23には、公開情報入力画面の実施例が示されている。

【0101】

図19には、アップロードするプレゼンテーション資料の公開情報の一つとして掲載期間を選択入力する掲載期間登録画面1900が示されている。プレゼンタ100は、複数の掲載期間が表示されたフレーム1901の中からアップロードするプレゼンテーション資料を掲載する掲載期間を選択する。

【0102】

図20には、アップロードするプレゼンテーション資料の公開情報の一つとしてプレゼンテーション資料のファイルサイズを入力するファイルサイズ登録画面2000が示されている。プレゼンタ100は、アップロードするプレゼンテーション資料のファイルサイズをフレーム2001に入力する。プレゼンテーション資料公開サーバ400にアップロード可能なファイルサイズにはある程度の制

限が設けられており、その制限範囲を超えるようなファイルについてはアップロードが禁止される。

【0103】

図21には、アップロードするプレゼンテーション資料の公開情報の一つとしてプレゼンテーション資料のカテゴリ情報を入力するカテゴリ情報入力画面2100が示されている。図示の例では、例示列挙されたカテゴリの中から選択することによりカテゴリ情報を登録する構成が示されているが、カテゴリを自由に設定することができるように構成することも可能であることは言うまでもない。

【0104】

図22には、アップロードするプレゼンテーション資料の公開情報の一つとしてプレゼンテーション資料のダウンロード条件を設定するダウンロード条件設定画面2200が示されている。プレゼンタ100は、アップロードするプレゼンテーション資料をアクセスしてきたすべての人に対するダウンロードを可能にする場合には、フレーム2201を選択する。これに対して、アップロードしたプレゼンテーション資料をダウンロード可能なリーダ200を制限する場合には、フレーム2202を選択して、IDおよびパスワードを設定する。このようにダウンロードに制限を設定すれば、プレゼンタ100がIDおよびパスワードを教えたリーダ200にのみにプレゼンテーション資料を配布することが可能となる。

【0105】

図23には、プレゼンタ100が図19～図22に示す画面において入力した公開情報が一覧表示される。プレゼンタ100は表示された公開情報が正しければOKボタン2301を押下することにより、図24に示す見積画面に移行する。

【0106】

図24には、プレゼンタ100が登録した公開情報に基づいて、プレゼンテーション資料をプレゼンテーション資料公開サーバ400上に公開するために必要な費用の見積が表示される。プレゼンタ100は、表示された見積額に納得した

場合には、OKボタン2401を押下する。

【0107】

(2-7) 受注画面フロー

次に、プレゼンタ100が、図24に示す画面において見積額を確認し、プレゼンテーション資料のプレゼンテーション資料公開サーバ400上へのアップロードを発注した場合に、プレゼンテーション資料公開サーバ400側において行われる受注フローについて説明する。

【0108】

図24に示す見積画面2400においてOKボタン（発注ボタン）2401が押下されると、図26に示すような仮発注画面2600が表示される（S2401）。そして、この仮発注画面2600において、発注情報入力画面ボタン2601を押下すると、決済方法を確認するための決済方法確認画面2700に移行する。この決済方法確認画面2700においては、予め登録してある会員情報もあわせて表示される。例えば、この決済方法確認画面2700において、クレジットカードボタン2702を選択すると、図28に示すような、与信情報入力画面2800が表示される（S2402）。

【0109】

図28に示す与信情報入力画面2800は、クレジットカード決済に対応するものなので、与信情報として、クレジットカード名義2801、クレジットカード番号2802、クレジットカード有効期限2803の入力が求められる。プレゼンタ100は、この与信情報入力画面2800において、所定事項を入力した後、送信ボタン2804を押下し、与信情報をプレゼンテーション資料公開サーバ400に送信する。

【0110】

プレゼンテーション資料公開サーバ400は、送信された与信情報に基づいてプレゼンタ100の与信照会を行う（S2404）。与信照会は、例えば、プレゼンテーション資料公開支援サーバ400とは別のサーバとして構成された与信サーバ（不図示）に対して与信情報を送信し、与信サーバにおいて与信照会を行い、与信結果をプレゼンテーション資料公開サーバ400に返答させることによ

り実施することができる。

【0111】

与信照会には、ある程度の時間がかかることがあるので、その場合には、図29に示すように、「登録先URLを作成中です。しばらくお待ち下さい。」2901といったようなメッセージを与信照会中画面2900を表示することにより、プレゼンタ100側のストレスを緩和することができる。

【0112】

クレジットカードの有効期限切れなど、与信照会の結果が否定的である場合には、不図示の受注拒否画面が表示され、プレゼンタ100によるレイアウト情報のダウンロードは拒絶される(S2405)。

【0113】

これに対して、与信照会が肯定的であった場合には、図30に示すように、アップロード情報の入力を促すように構成された画面において、本発注処理がなされる(S2406)。そして、登録先URLの準備が整うと、図30の画面3000に示す「登録画面へ」ボタン3001を押下することにより、図31に示すような、アップロード情報登録画面へ移行する(S2407)。

【0114】

アップロード画面3100においては、アップロードするプレゼンテーション資料のタイトル3101、プレゼンテーション資料に関連するウェブページへのリンク指定3102、プレゼンテーション資料に関するコメント3103などの入力を行うことができる。。

【0115】

アップロード画面3100においてアップロード情報が入力されると、ファイル指定画面3200に移行する。このファイル指定画面3200においては、アップロードしようとするプレゼンテーション資料のファイル名3201が指定される。そして、このファイル指定画面3200においてファイル名3201が指定された後に、アップロードボタン3202が押下されると、アップロードが実行される。

【0116】

図 3 3 は、アップロード完了画面 3 3 0 0 である。このアップロード完了画面 3 3 0 0 において、プレゼンタ 1 0 0 には、プレゼンテーション資料が格納されたフォルダの URL、プレゼンテーション資料をダウンロードして閲覧するための ID およびパスワードが通知される。

【 0 1 1 7 】

(2 - 8) プレゼンテーション資料ダウンロードフロー

本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスにおいては、リーダ 2 0 0 によるプレゼンテーション資料のダウンロード方法もいろいろと設定することができる。例えば、プレゼンタ 1 0 0 が、プレゼンテーション資料をダウンロードさせたいリーダ 2 0 0 に対して、ダウンロード先の URL を通知し、リーダ 2 0 0 が直接ダウンロード先の URL にアクセスし、所望のプレゼンテーション資料をダウンロードするように構成することができる。

【 0 1 1 8 】

あるいは、リーダ 2 0 0 が自ら所望のプレゼンテーション資料を探索して、ダウンロードするように構成することができる。かかる場合には、リーダ 2 0 0 は、図 3 4 に示すようなダウンロードサイト 3 4 0 0 にアクセスし、ダウンロードサイト 3 4 0 0 に例示されるカテゴリーボタン 3 4 0 1 ~ 3 4 0 4 の中から所望のカテゴリーを選択し、所望のプレゼンテーション資料に到達していくように構成することができる。

【 0 1 1 9 】

例えば、図 3 4 のダウンロードサイト 3 4 0 0 において、新製品ニュースボタン 3 4 0 1 を押下すると、図 3 5 に示すような、新製品ニュース画面 3 5 0 0 において、ダウンロード可能なプレゼンテーション資料の一覧表 3 5 0 1 ~ 3 5 0 3 が表示される。リーダ 2 0 0 は、一覧表の中からダウンロードしたいプレゼンテーション資料を選択する。例えば、図 3 5 に示す新製品ニュース画面 3 5 0 0 において、「メモリ管理」 3 5 0 3 を選択すると、図 3 6 に示すように、「メモリ管理」に関するプレゼンテーション資料のダウンロード画面 3 6 0 0 に移行する。

【 0 1 2 0 】

そして、このダウンロード画面3600において、ダウンロードボタン3601を押下することにより、プレゼンテーション資料のダウンロードが可能となる。なお、図36に示すダウンロード画面3600においては、関連するウェブページへのリンクボタン3602も表示されている。

【0121】

図36のダウンロード画面3600において、ダウンロードボタン3601を押下した場合に、公開情報としてダウンロード条件が特段設定されていない場合は、すぐに図38に示すようなダウンロード画面3800に移行して、ダウンロード処理が実行される。これに対して、公開情報としてダウンロード条件が設定されているような場合は、図36のダウンロード画面3600において、ダウンロードボタン3601を押下すると、図37に示すようなログイン画面3700が表示される。

【0122】

図37に示すログイン画面3700において、適正なID3701およびパスワード3702を入力すると、図38に示すようなダウンロード画面3800に移行する。その結果、図38に示すダウンロード画面において、ウィンドウの「ファイルダウンロード」画面3800が表示されて、ダウンロード処理が行われる。

【0123】

ダウンロードが完了した後は、図39に示すような、本実施の形態にかかるプレゼンテーション資料制作支援サービスの利用に対するお礼を示す画面が表示されて、一連の作業が終了する。

【0124】

プレゼンタ100にダウンロードされたファイルは、適当なプレゼンテーションツールを用いて合成されて、実際のプレゼンテーションに利用することができる。なお、パワーポイントなどのプレゼンテーションツールによるファイルの合成方法については、よく知られたことなで、本明細書においては言及するにとどめ、詳細説明は省略する。

【0125】

以上、添付図面を参照しながら本発明にかかるプレゼンテーション資料制作支援システム等の好適な実施形態について説明したが、本発明はかかる例に限定されないことはいうまでもない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された技術的思想の範疇内において各種の変更例または修正例に想到し得ることは明らかであり、それらについても当然に本発明の技術的範囲に属するものと了解される。

【0126】

【発明の効果】

このように、本発明によれば、プレゼンタは、プレゼンテーション資料公開サーバにプレゼンテーション資料をアップロードすることができるので、プレゼンテーション資料を効率的に配布することが可能である。その際に、プレゼンテーション資料公開サーバは、複数のプレゼンタが共用する公開サーバとして構成されているので、多くのアクセスがあった場合であっても、プレゼンタ自身のサーバに負担がかかることがない。

【0127】

さらに、公開期間などの公開情報を予め登録しておくので、プレゼンタ自身がプレゼンテーション資料の公開を管理する手間も省略することができる。

【0128】

公開情報にプレゼンテーション資料のカテゴリ情報を含めて、プレゼンテーション資料をカテゴリ情報に応じて分類して公開するように構成すれば、リーダなどの利用者の利便を向上させることができる。

【0129】

公開情報に、リーダの閲覧許可情報を組み込み、この閲覧許可条件に合致するリーダの閲覧のみを許可するように構成すれば、秘密性の高いプレゼンテーション資料についても、その秘密に対するアクセス権限を有するリーダにのみプレゼンテーション資料を配布するような構成を採用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの構成を

示すブロック図である。

【図 2】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンタの構成を示すブロック図である。

【図 3】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのリーダーの構成を示すブロック図である。

【図 4】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンテーション資料公開サーバの構成を示すブロック図である。

【図 5】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンテーション資料公開フローを示すフローチャートである。

【図 6】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの受注処理フローを示すフローチャートである。

【図 7】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンテーション資料ダウンロードフローを示すフローチャートである。

【図 8】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンテーション資料管理構造を示す説明図である。

【図 9】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの会員登録画面フローを示すフローチャートである。

【図 1 0】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 1】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 2】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 3】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 4】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 5】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 6】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムのプレゼンテーション資料アップロード画面フローを示すフローチャートである。

【図 1 7】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 8】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 1 9】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 0】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 1】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 2】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 3】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 4】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 5】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開システムの受注画面フローを示すフローチャートである。

【図 2 6】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 7】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 8】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 2 9】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 0】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供す

るサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 1】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 2】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 3】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 4】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 5】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 6】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 7】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 8】

本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【図 3 9】

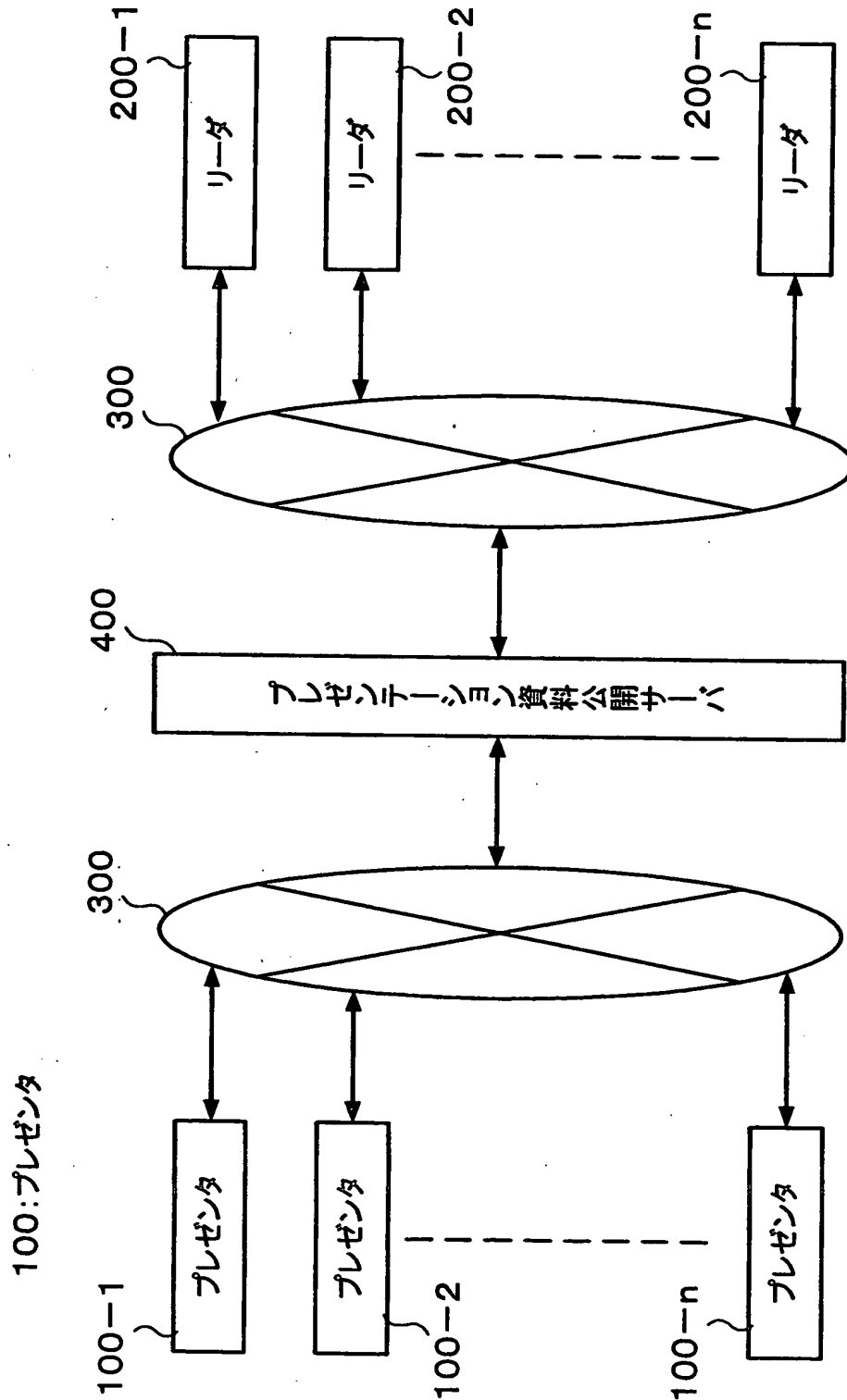
本発明の実施の一形態にかかるプレゼンテーション資料公開サービスを提供するサイトのブラウザ表示画面を示す説明図である。

【符号の説明】

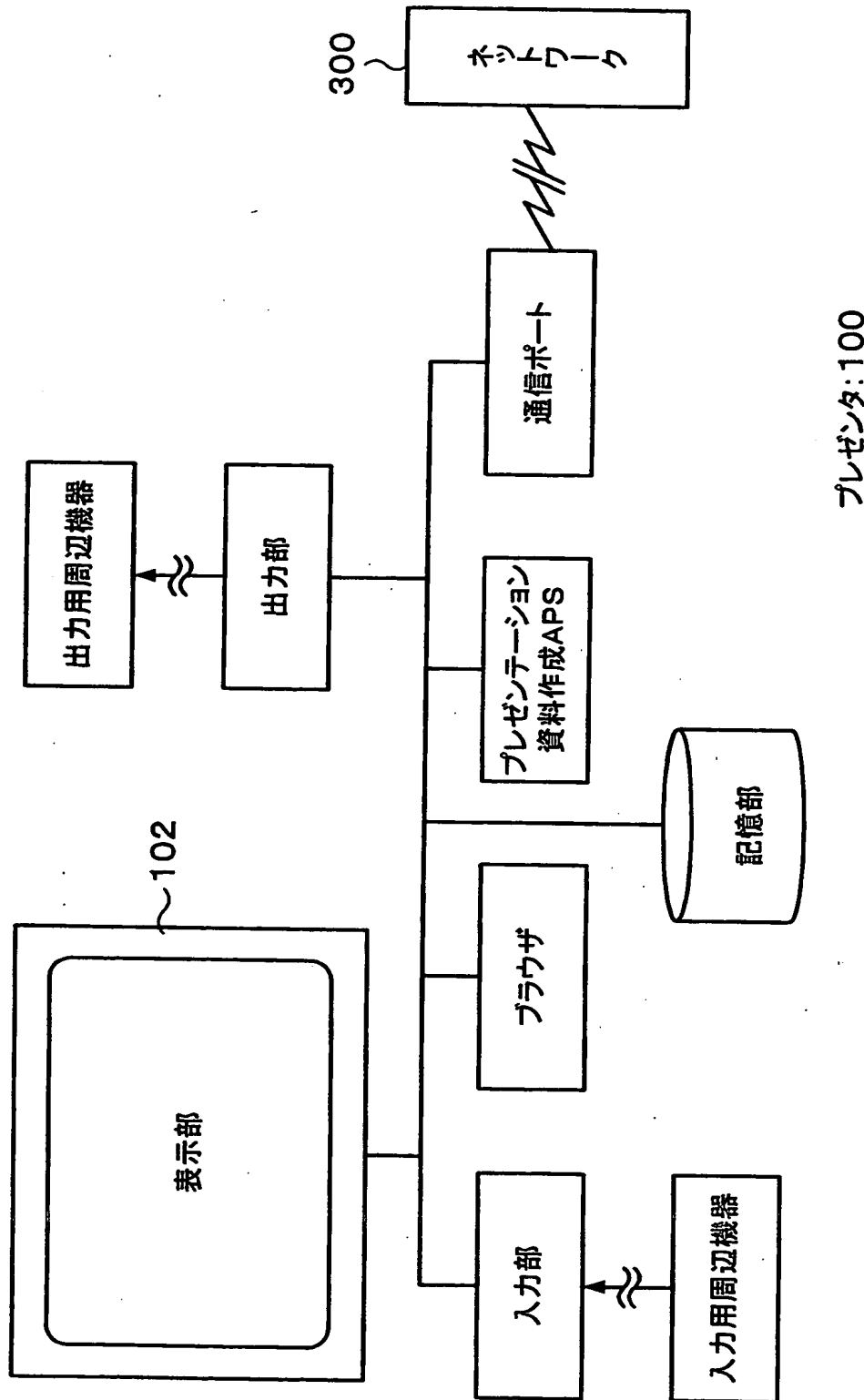
1 0 0	プレゼンタ
1 0 2	表示部
1 0 4	入力部
1 0 6	外部入力用周辺機器
1 0 8	出力部
1 1 0	出力用周辺機器
1 1 2	ブラウザ
1 1 4	プレゼンテーション資料制作用アプリケーションソフト
1 1 6	記憶部
1 1 8	通信ポート
2 0 0	リーダ
3 0 0	ネットワーク
4 0 0	資料公開サーバ
4 0 2	管理部
4 1 0	プレゼンタ対応部
4 1 1	会員登録部
4 1 2	公開情報管理部
4 1 3	見積処理部
4 1 4	受注処理部
4 1 5	アップロード管理部
4 2 0	リーダ対応部
4 2 1	公開情報管理部
4 2 2	ダウンロード許可部
4 3 0	データベース部
4 3 1	プレゼンタ情報データベース
4 3 2	リーダ情報データベース
4 3 3	公開情報データベース
4 3 4	プレゼンテーション資料データベース

【書類名】 図面

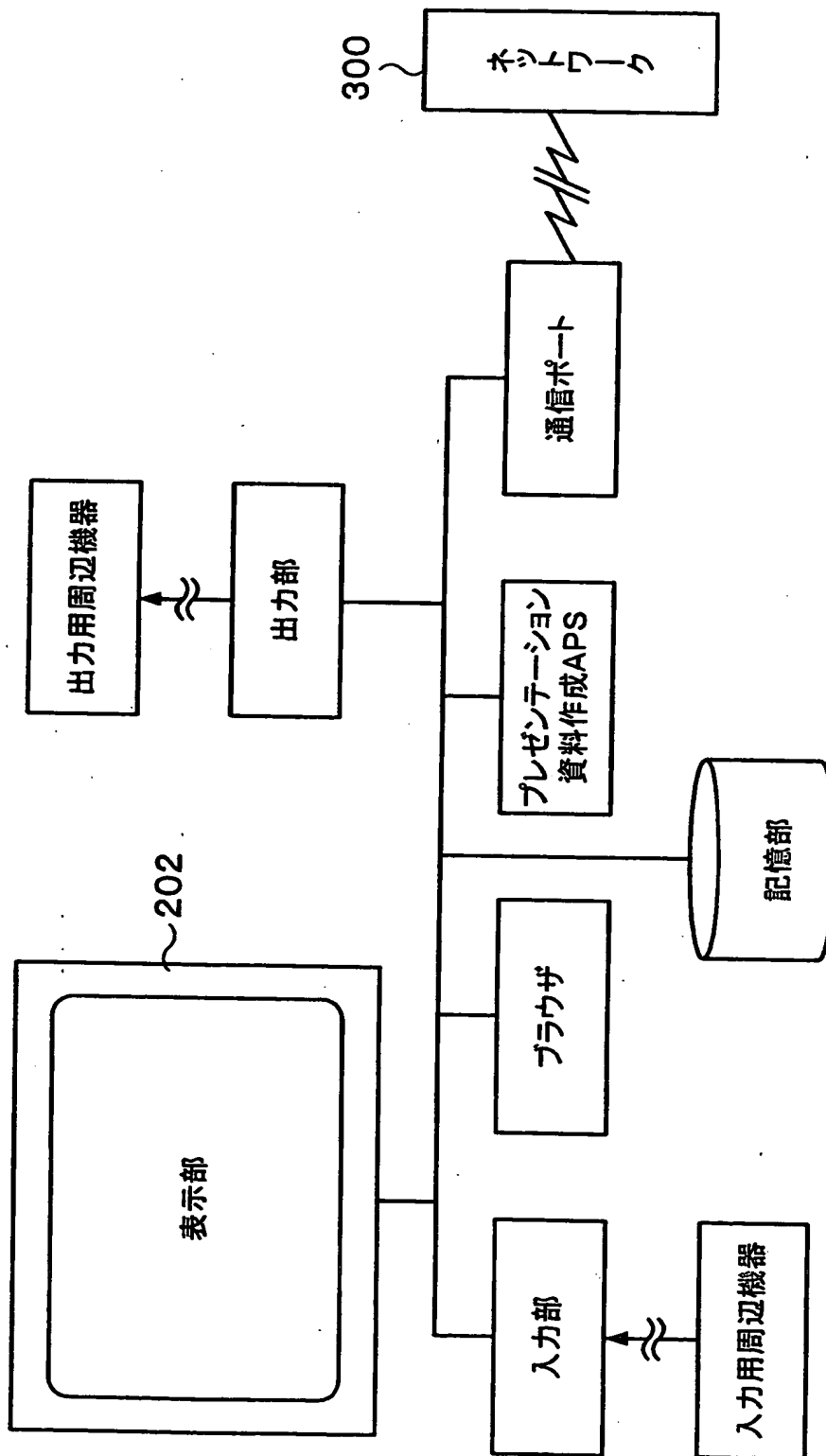
【図 1】



【図2】

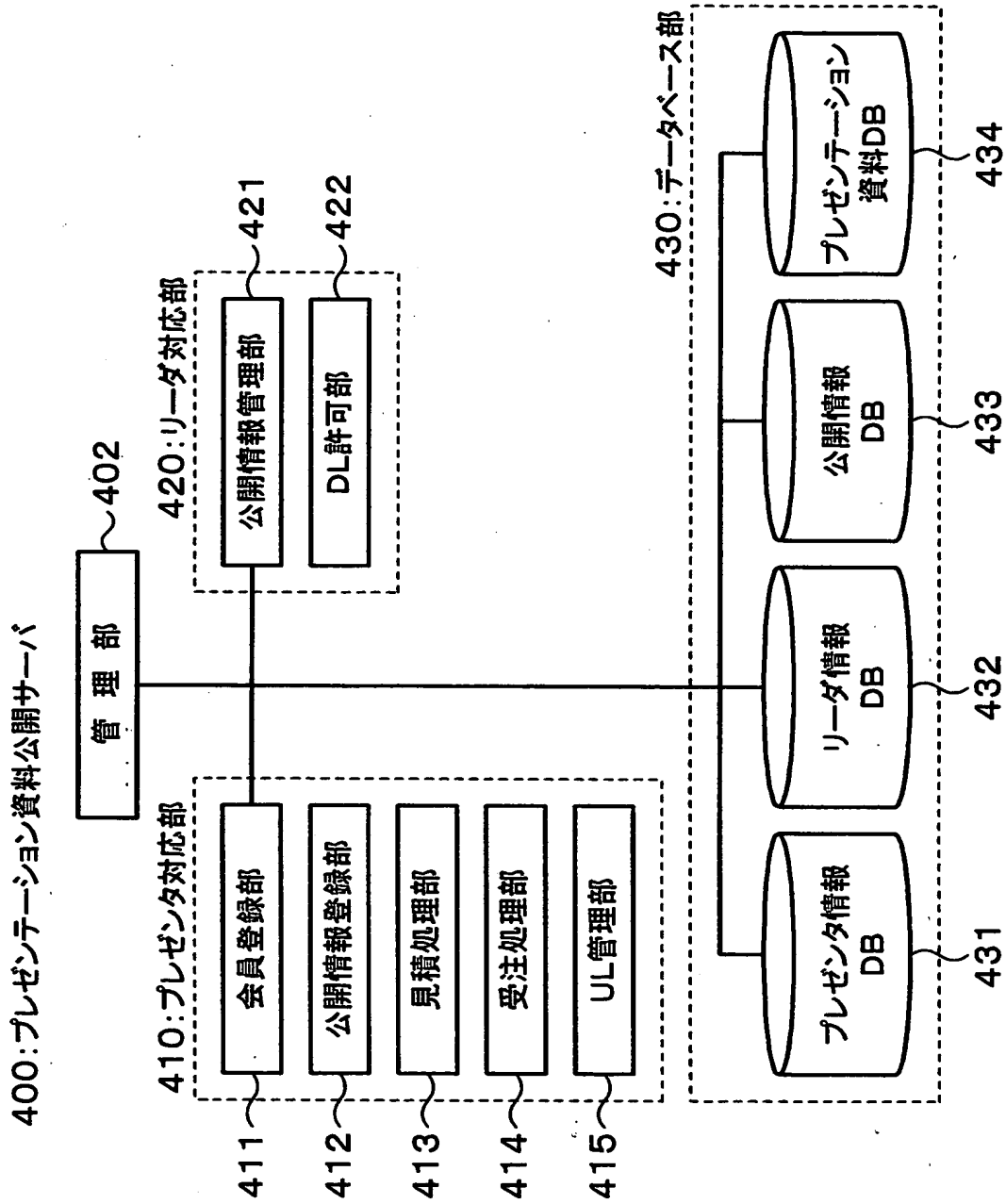


【図3】



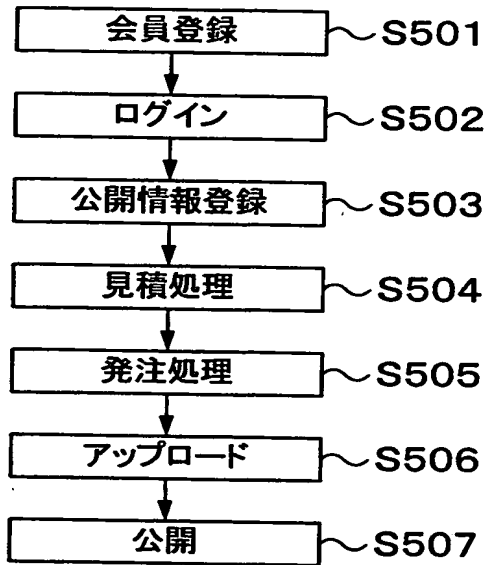
リーダ:200

【図4】



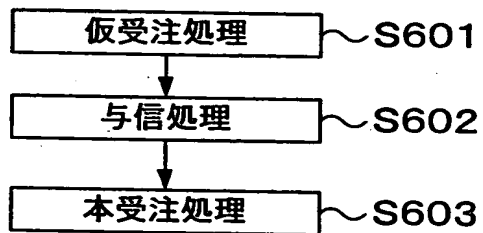
【図 5】

プレゼンテーション資料公開フロー



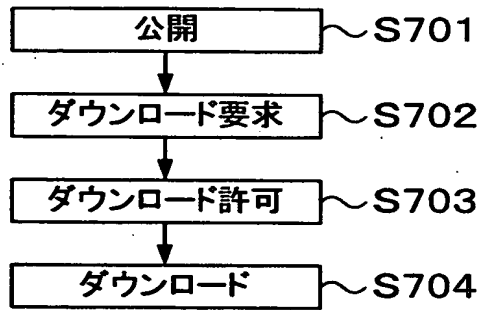
【図 6】

受注処理フロー

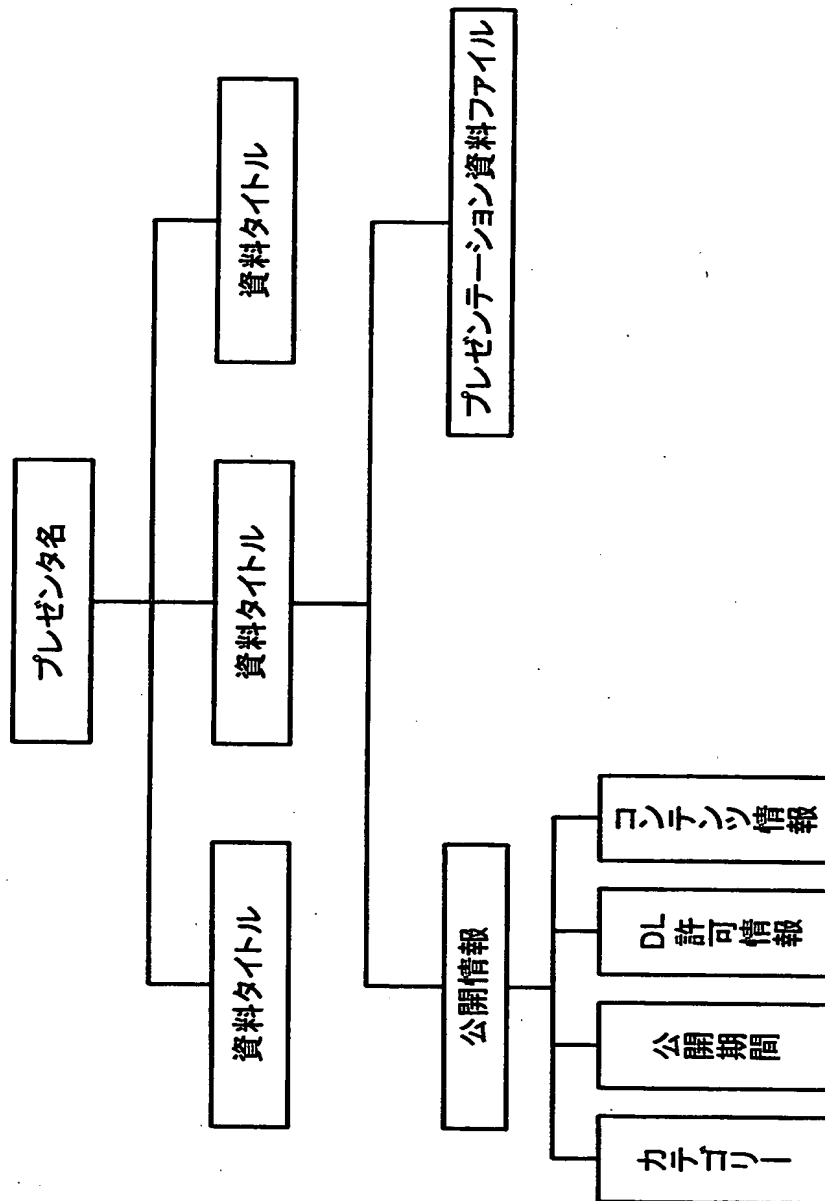


【図 7】

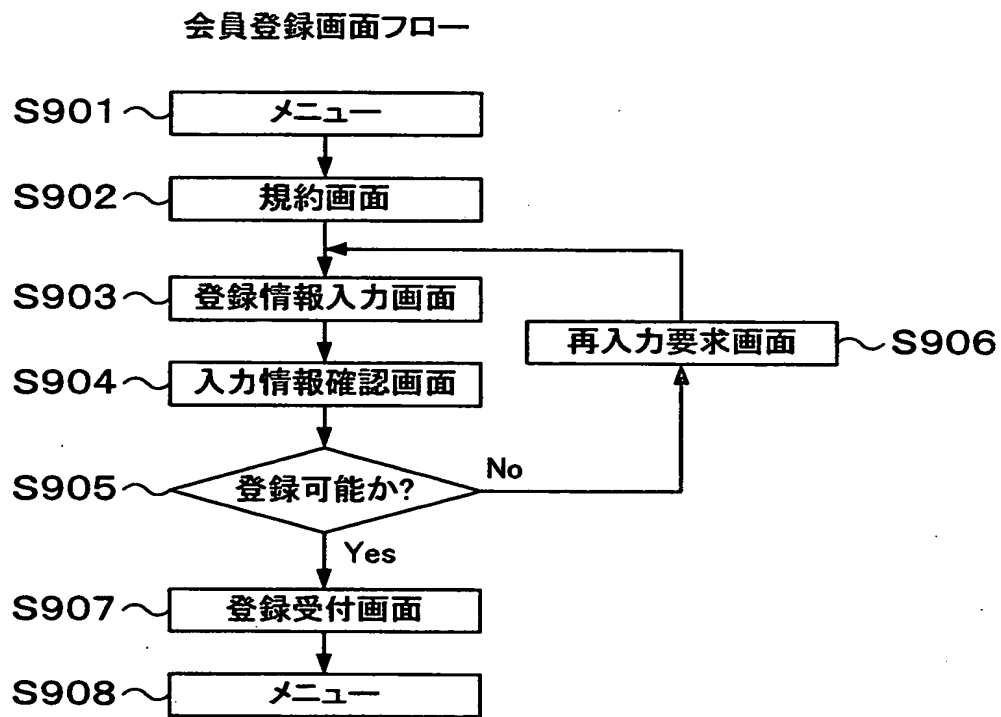
プレゼンテーション資料ダウンロードフロー



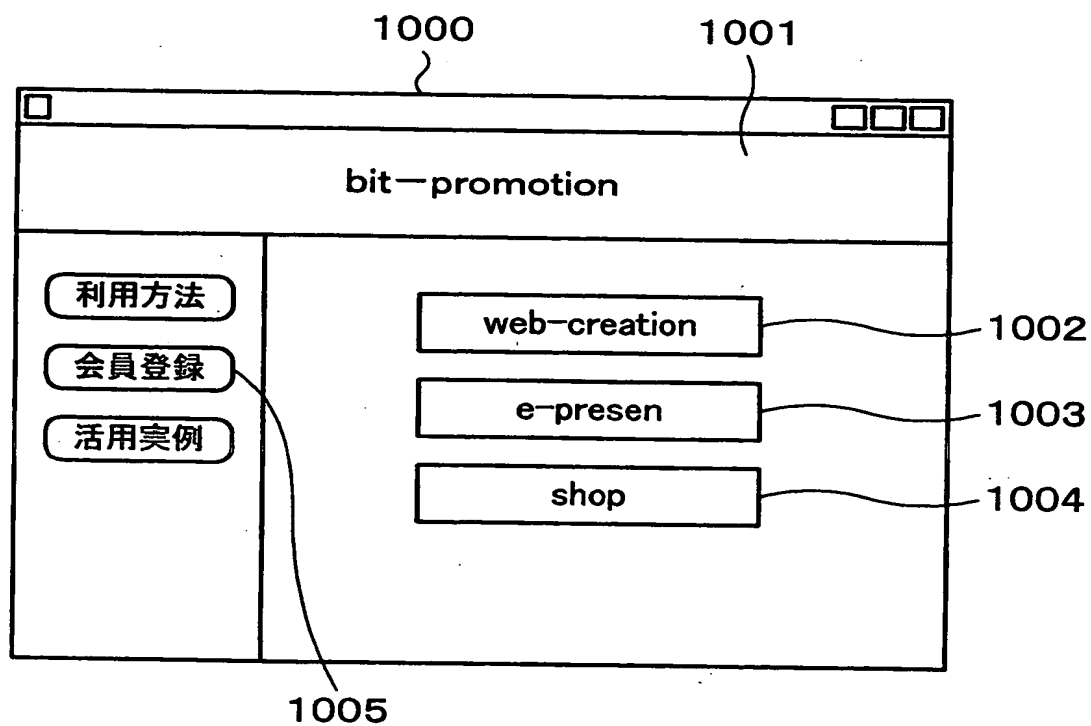
【図8】



【図9】



【図10】



【図 1 1】

1100

会員登録

本サイトをご利用になるための会員登録をお願いします。
実際の登録を行う前に、下記規約をご確認下さい。

下記を承諾します 下記を承諾しません

bit-promotion 会員規約

1102 1101

【図 1 2】

1200

会員登録

ご希望のユーザーID

ご希望のパスワード

e-mailアドレス

ユーザー情報入力

氏名 氏名

1201 1202 1203 1204

【図 13】

bit-promotion

下記の内容で登録しますか

ユーザーID bitkun

パスワード 123bit

e-mail bit@bit-promotion.com

氏名

OK NO

1300

1301

【図 14】

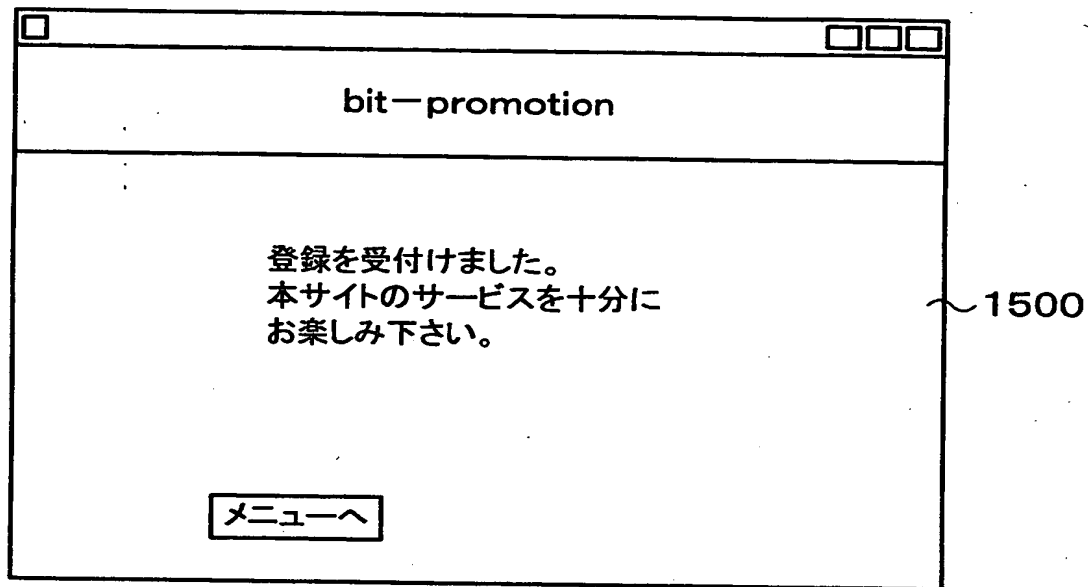
bit-promotion

残念ながら指定のIDはすでに
使用されています。
登録情報を再入力して下さい。

再入力 中止

1400

【図 15】

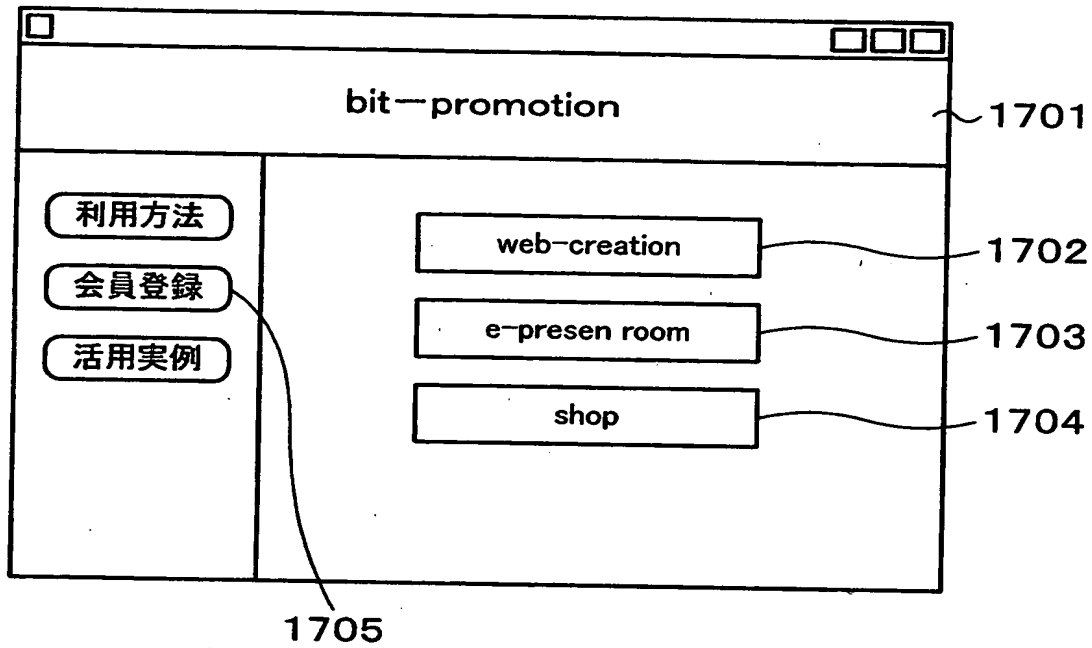


【図 16】

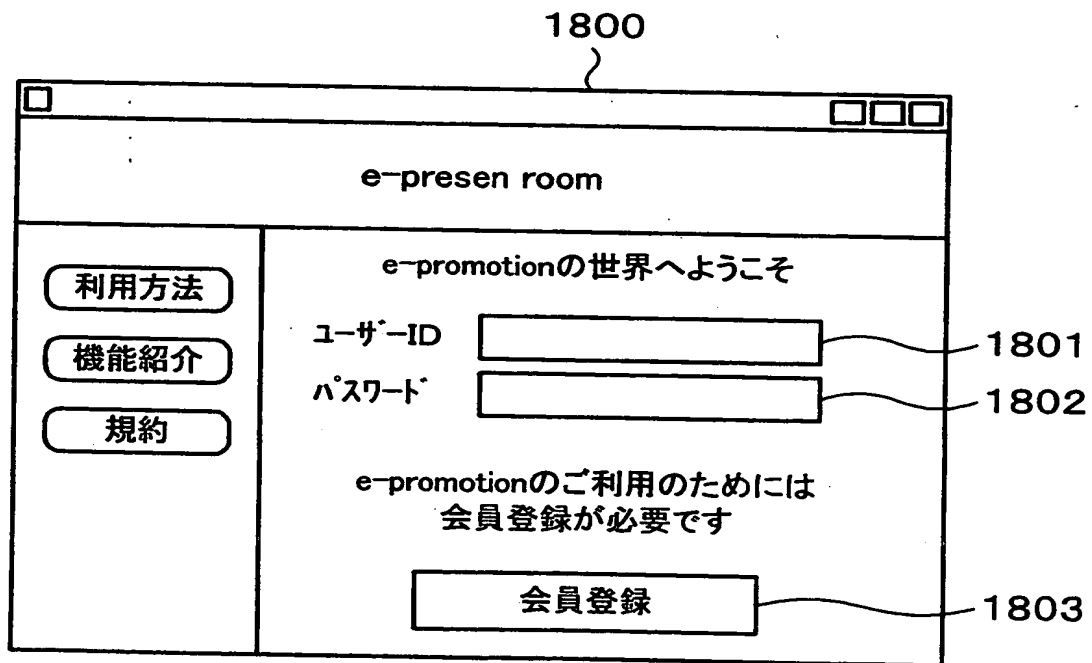
プレゼンテーション資料
アップロード画面フロー



【図17】



【図18】



【図19】

1900

1	WEEK
2	WEEK
3	WEEK
4	WEEK

次へ ▷

1901

【図20】

2000

ファイルサイズを入力して下さい

KB

次へ ▷

2001

【図 21】

2100

e-presen

カテゴリーを入力して下さい

NEWS ☐

IT産業 ☐

食品 ☐

ホビー ☐

次へ ▶

2101

【図 22】

2200

e-presen

ダウンロード条件を入力して下さい

誰でも見れる ☐

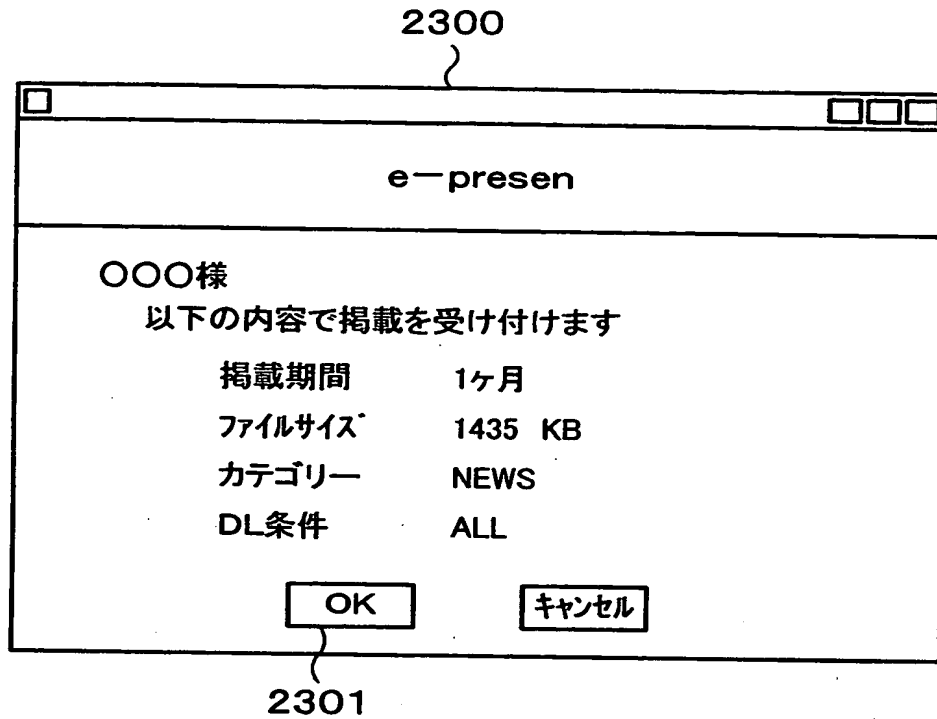
ID PWを入力しないと見れない ☐

次へ ▶

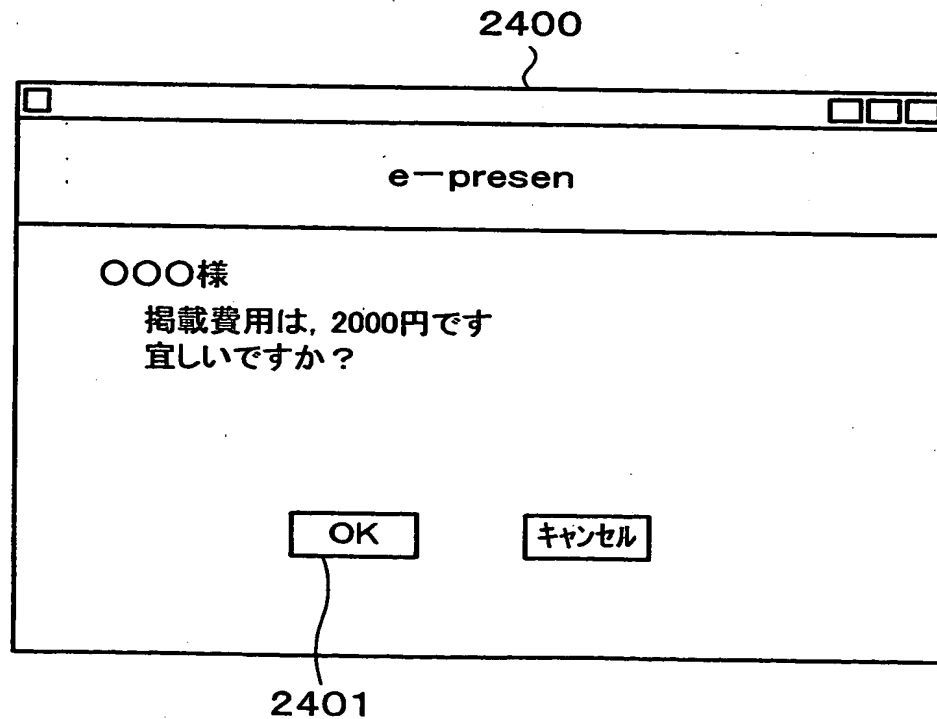
2201

2202

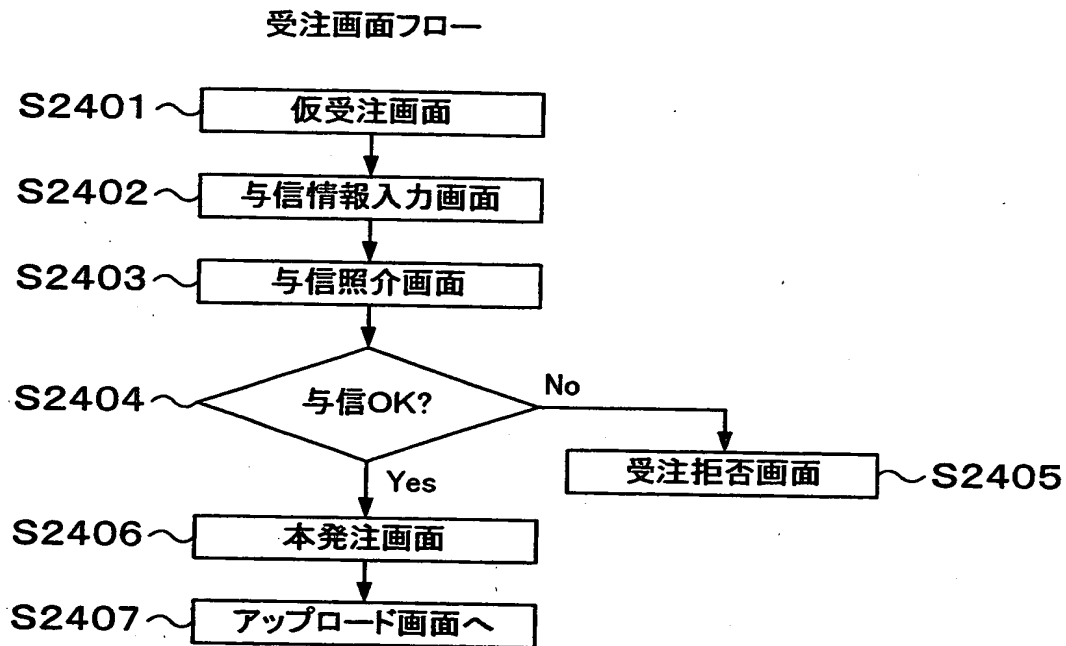
【図 2 3】



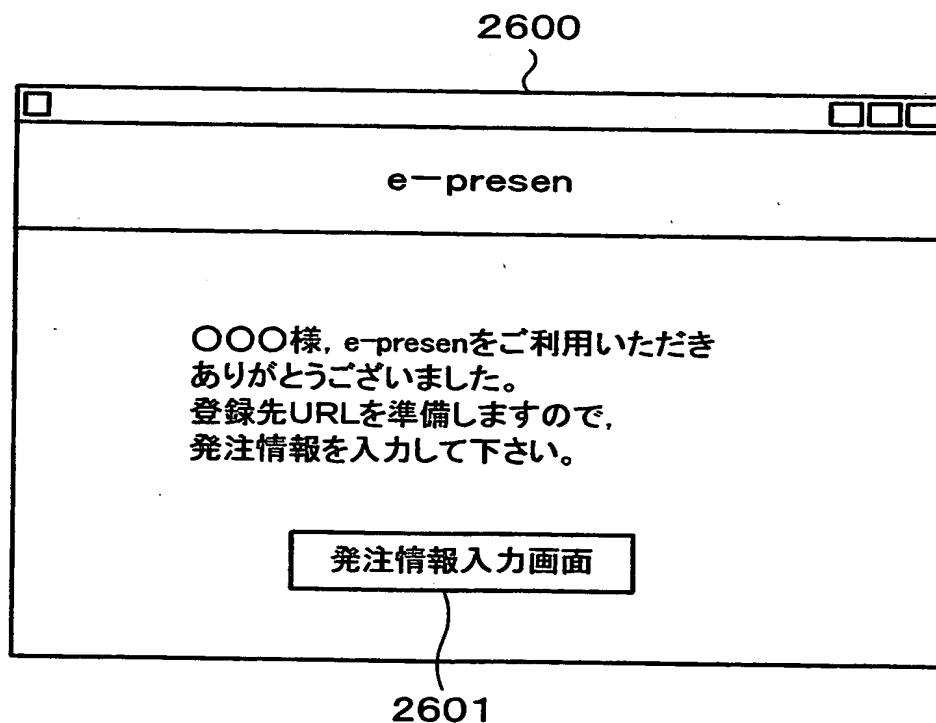
【図 2 4】



【図 25】



【図 26】



【図 27】

e-presen

氏名 氏 名

住所 〒 162-0065

支払方法

☒ クレジットカード ☐ 電子マネー

2700

2701

【図 28】

e-presen

名義

クレジットカードNO

有効期限

送信 戻る

2800

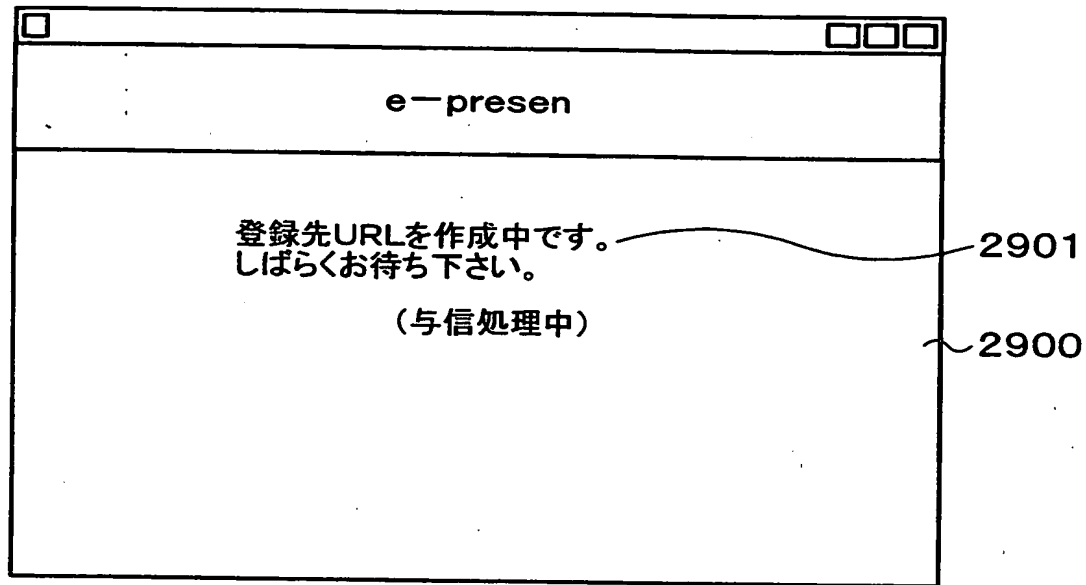
2801

2802

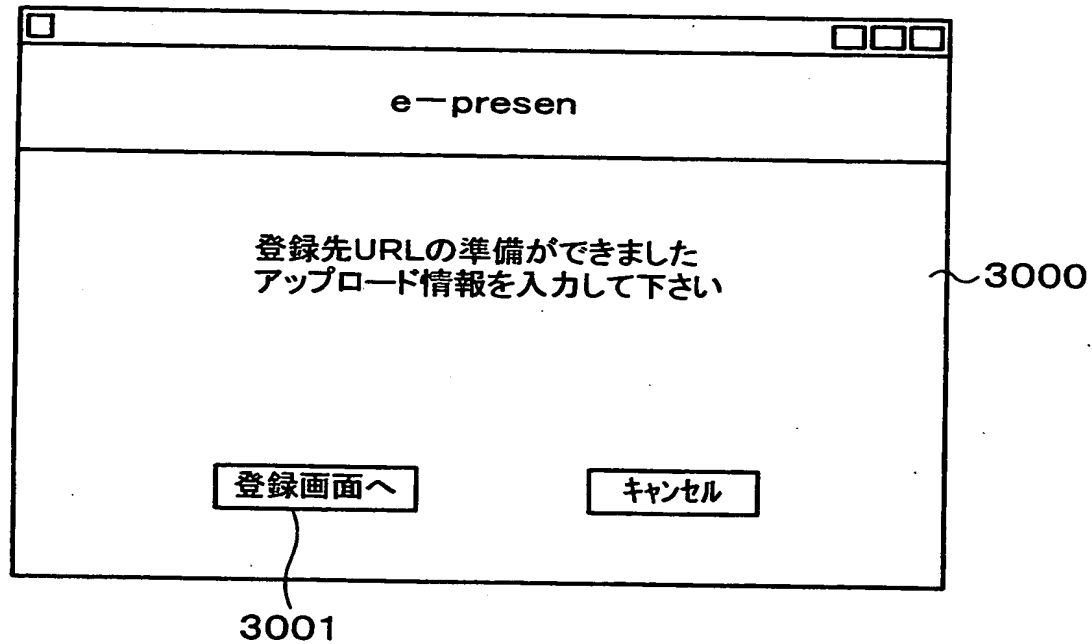
2803

2804

【図 2 9】



【図 3 0】



【図 3 1】

Figure 31 shows a web form titled "e-presen". The form contains three input fields: "タイトル" (Title) with reference numeral 3101, "リンク先" (Link) with reference numeral 3102, and "コメント" (Comment) with reference numeral 3103. A bracket labeled 3100 groups the three input fields.

【図 3 2】

Figure 32 shows a web form titled "e-presen". The form contains a text area labeled "ファイルを指定してアップロードして下さい" (Please specify the file to upload) with reference numeral 3200. Below this is a text input field labeled "参照" (Reference) with reference numeral 3201. At the bottom, there are two buttons: "アップロード" (Upload) with reference numeral 3202 and "OK".

【図 3 3】

e-presen

アップロードが完了しました
下記のURLにて登録内容を確認できます

URL http: _____ 3301

ID _____ 3302

PW _____ 3303

またのご利用をお待ちしております

TOPへ

3300

【図 3 4】

e-presen

SEARCH

コンテンツ

REVIEW
INFORMATION
⋮

What's New

TOPICS

カテゴリー

NEWS 3401

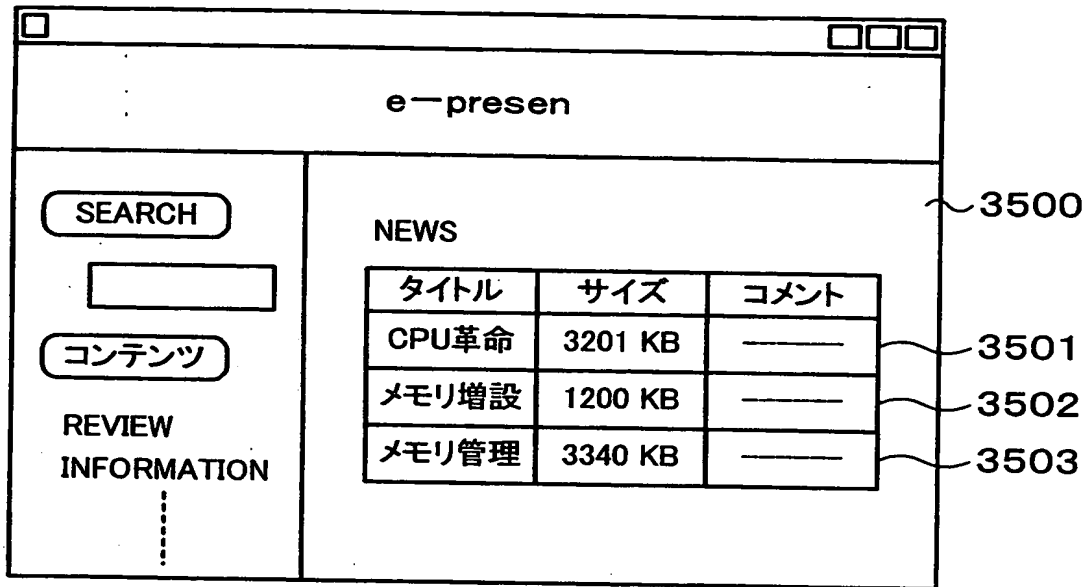
不動産 3402

IT産業 3403

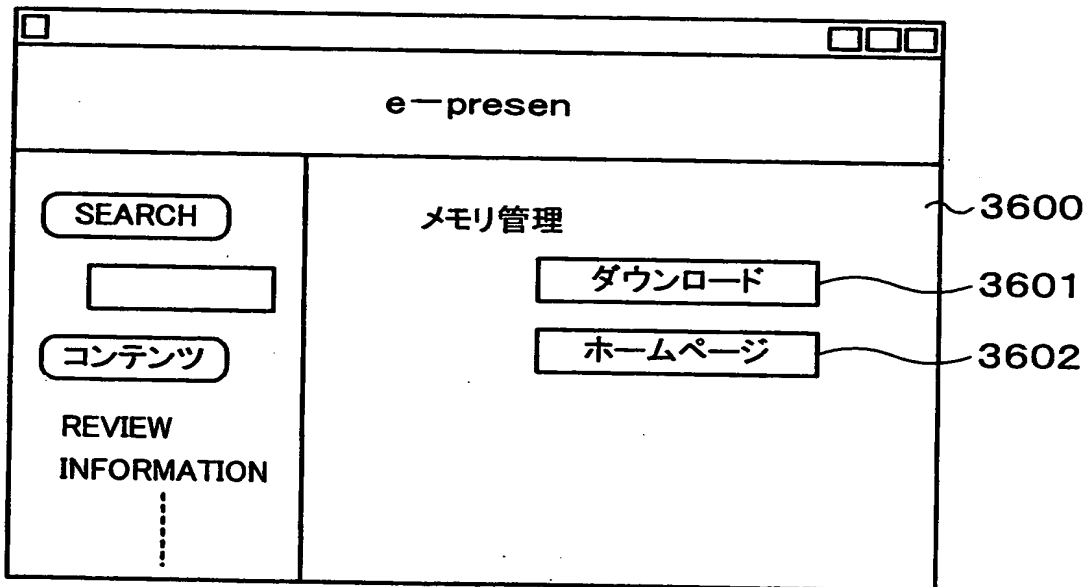
食品 3404

3400

【図 35】



【図 36】



【図 37】

e-presen

SEARCH

コンテンツ

REVIEW
INFORMATION

IDおよびPWを入力して下さい

ID

PW

3700

3701

3702

【図 38】

e-presen

ファイルのダウンロード

次の場所からファイルをダウンロードするように選択しました

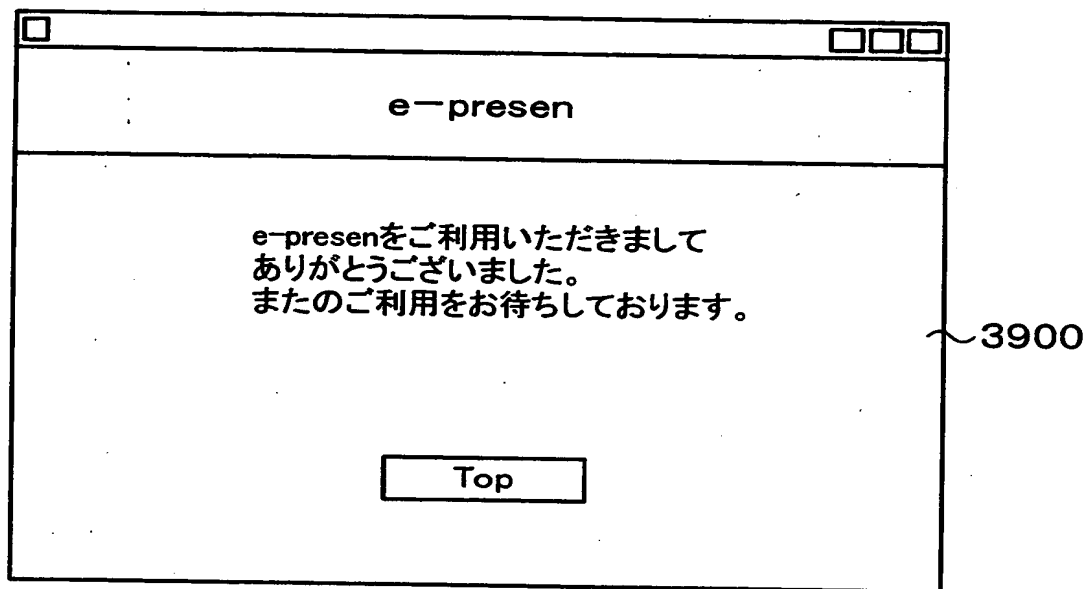
このファイルの処理方法

- このファイルを上記の場所から開く
- このファイルをディスクに保存する

OK キャンセル 情報詳細

3800

【図39】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プレゼンテーション資料を公開サーバにおいて公開可能なシステムを提供する。

【解決手段】 プレゼンテーション資料公開システムは、プレゼンタ100と、リーダ200と、プレゼンタとリーダがネットワーク300を介してアクセス可能なプレゼンテーション資料公開サーバ400とを備えている。プレゼンテーション資料公開サーバは、所定の公開情報の登録を条件にプレゼンタからアップロードされるプレゼンテーション資料を公開する。リーダは、前記プレゼンテーション資料公開サーバにより許可されたプレゼンテーション資料をネットワークを介して閲覧することができる。

【選択図】 図5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名 ソニー株式会社